

奇跡の英検 1 級合格大作戦

序章

私の手元に一冊の本があります。「英語の資格を取ろう」法学書院、1993 年 4 月初版。本屋で見つけたのは 1994 年秋でした。これに触発されて本格的に勉強を始め、様々な試験に挑戦し始めたのは 1997 年春でした。今、その本を手にとって読み直し、10 年間の軌跡を振り返ってみると、感無量です。

当時読んで、いつかあんなふうになりたいという憧れと、自分の力ではとてもじゃないけどあんなこと無理だという無力感を感じたのですが、その自分が、本の中で紹介されていた 4 つの資格すべてを取り、しかも、英検 1 級は、20 回合格、通訳ガイド試験と国連英検特 A 級も 2 回ずつ合格し、最近はその経験を人に教え、合格のためのアドバイスをし、それが良い結果に結びついて多くの合格者から喜びの声を聞くことが多くなりました。14 年前にはとても予想できなかったことです。

そんなことが続き、一人でも多くの英語学習者の学力向上を助け、喜ぶ顔を見たい！ その思いが高じ、自分の経験をこの場で紹介することで世間のお役に立ちたいと考えるようになったのが、この本を書いたきっかけです。

私は、或るメーカーで、32 年間、普通のサラリーマンを続けてきました。海外営業に 17 年間携わり、イギリスの販売会社に出向して 5 年過ごした経験はありますが、元来は専門の英語教師ではなく、また、語学で有名な大学の英文科を出たわけでもありません。でも、そんな私だからこそ、元々が英語のプロではなかった私だからこそ、これから紹介する私のここ 10 年間の経験は、きっと、世間の多くの英語仲間—学生、主婦、働いている人たち、退職後のシニアの皆さん—の誰にとっても、読んでわかりやすく、うなづき、賛同する箇所がたくさんあり、すぐにでも役に立つ実戦的な内容に溢れていると思うのです。

英語学習で悩んでいる一人でも多くの方に読んでいただき、「英語力が伸びた、合格した」という喜びの声を聞くことができれば、私もとても嬉しいです。

第 1 章 私の英語遍歴

大学 1 年生の時に英検 2 級を受験しました。それほど苦労せず、準備も殆どしないで、すんなり合格したことを覚えています。中学、高校と英語が好きであり、成績も良かったのですが、その延長で試験を受けても問題ありませんでした。

大学 3 年の秋に英検 1 級を受けたのですが、最初から最後まで、わけがわからないうちにあっという間に時間が過ぎてしまい、惨めな結果で終わってしまいました。

成績通知葉書もゴミ箱に直行でした。あんな難しい単語を選ばせたり、ちんぷんかんぷんの専門

的な論文を読ませたり、あんなハイスピードでしかも込み入ったリスニングを聞かせて何になるのか、この試験は非常識であり、おかしいのではないか、まともな英語学習には役に立たないのではないかと勝手に思い込んでしまったのです。

今思えば、非常識だったのはこの私であり、自分の英語力の無さを試験のせいにしていました。恥ずかしい限りです。こんな態度でしたから、その後、英検とは縁がありませんでした。自分から英検を避けていたというべきでしょう。

そんな私でしたが、会社に入ってから5年目（1981年）に、国内営業から海外営業に異動になり、英語無しでは仕事ができない環境に置かれました。

■ 私をやる気にさせた動機

<いつか、あんな赤ペン先生が務まるようになりたい>

職場の先輩に、英語の大家がおられ、FAXで送るための手書き文書を持っていくと、赤ペンで、原型を止めないくらいまで修正してくださるのです。いつか、自分も、あの先輩のように赤ペン先生が務まるようになりたいと強く願っていたのですが、仕事の忙しさにかまけて、しっかりと勉強もせずに英語を書いたりしゃべったりしていました。仕事では何とか通じるので、自分は高度な英語力を持っていると勝手に思っていたのですが、今振り返ると冷や汗ものです。

<目標になる同僚登場>

数年後、職場に、外資系航空会社を退職した人が途中入社しましたが、その人の英語力の高さに驚き、いつか、あの人のレベルに追いついてやろうと思っていましたが、目の前の仕事をこなすのに精一杯で、本格的な勉強をスタートさせるには到りませんでした。それでも、同僚を目標にして、リスニングの取り組みをやり始めました。

<悲しい、屈辱の記憶>

忘れもしない、1982年4月のことです。国内営業から海外営業部に異動して2年目の私は、欧州のOEM（相手先ブランド）取引先への装置納入を担当しており、先方のエンジニア（ティーチャークラス）向けの技術研修に通訳として派遣されました。

装置を設計した開発グループの人の通訳をやるのですが、技術的な背景が無いために、技術者の日本語の意味がわからず、何度も立ち往生する場面がありました。それでも、何とか終了させたのですが、契約金額を払ってもらうときに、先方が、サービスマニュアルと研修の費用支払いを渋ったのです。サービスマニュアルの出来の悪さと、技術研修のときの通訳がへたくそだったので充分理解できなかったという点を突かれたのです。

ある日、私は、課長から呼び出され、食事しながらそのことを伝えられました。そして、契約金額は満額支払ってもらうことになったから安心すること、今回のことを教訓にして英語の勉強に拍車をかけるようにとの話がありました。

課長と別れてから、自分がどうしようもなく情けなく、涙をぼろぼろ流しながら、100分間の道のりを歩いて帰ったことを今でも鮮明に覚えています。その日がきっかけでした。一念発起、本格的に英語を勉強しようと思ったのは、私は、国内営業の5年間で全国ネットのシステムをいく

つも決め、6億円近い商売をしてきました。お客様から感謝され、対価としてもお金をきっちり頂戴してきました。ところが、海外営業部に移ったら、お客様からお金を頂戴できない、ゼニの取れない営業マンに落ちぶれたのです。そのことがひどく悲しく、屈辱を感じました。そして、その屈辱をばねにして英語を勉強しました。

2007年夏、私は、その当時の課長と会いました。定年退職を迎えられたからです。食事しながらその話をしましたら、記憶が無い、そんなひどいことを言って申し訳なかったとおっしゃったのですが、私は、心からお礼を申しあげました。

あの一言がなかったら、私は本気になって英語を勉強しようとは思わなかったでしょう。ここに書いたような経験はできなかったでしょう。私の成長を願う先輩の励ましの一言が、私の人生を大きく変えたのです。

今度は私がやる番です。英語の学習で悩んでいる何万人、何十万人もの多くの人にとって少しでも役立つようなアドバイスをすることが私の使命だと思うようになりました。

<病気からの生還-転機>

そんな無精者の私に転機が訪れました。1995年1月早々、突然の脳幹梗塞で右半身が麻痺し、3ヶ月の入院を余儀なくされたのです。一時は、一生涯車椅子生活の不安が脳裏を掠めましたが、真剣なりハビリ訓練によって、わずか3ヶ月で社会復帰を果たしました。

そのとき気がついたことは、会社から離れて、名刺を持たない私には、自分が何者かを語るべきものがほとんど無いことでした。「得意なものは何ですか?」「英語です」と答えようにも、それを客観的に証明するものが何も無いのです。唯一証明で使えそうなものは、古ぼけた英検2級の合格証明書だけです。英検2級の人など世の中に沢山居ます。それだけでは、英語が良くできることの証明にはとてもなりません。そのことに気がついて、少しずつですが、英語の資格試験を研究し、参考書を買って勉強するようになりました。アルクの「TOEIC730点突破、1000時間ヒアリングマラソン」などにも、真剣に取り組みました。

<輝かしい成果>

そのような努力が実ったのでしょう。1997年春に英検準1級を受け、一次、二次ともに高得点で合格。同時期に受けた初めてのTOEICで940点獲得。この勢いを駆って同年秋に英検1級を受験しましたが、3点差で一次試験敗退。単語とリスニングが弱点とわかり、旺文社の参考書を買ってきて徹底的に勉強したことが功を奏し、翌年1998年春に一次、二次ともに合格しました。

まぐれだと思い、同年秋に1級を再受験したら今度も合格。それでも信じられなかったので翌年も受けたら今度は余裕で合格。受験を続けている知人が居たので、合格するまでつきあうことを宣言し、以来、今日まで23回受験してきました。

来る6月15日の2008年度第1回の英検1級も申し込みを済ませており、24回目の受験になります。当面の目標は英検1級50回連続合格を果たして、日本英語検定協会から表彰状をもらうことです。そういう制度があるかどうかは知りませんが。そう言えば、昨年、協会から、突然、「生涯学習奨励賞」が送られてきました。立派なトロフィーと賞状を頂きました。

2000年に通訳ガイド試験に合格（1999年の初受験では1次試験で敗退）、当時は合格者が5%くらいであり、超難関試験でした。

国連英検は、2001年にA級に合格しましたが、特A級は惨めな結果に終わりました。大きな学力向上を実感できるようになった2006年春に合格しましたが、1次試験の点数に満足がいかなかったので秋にも受験。2回連続合格でしたので、まぐれではなかったことを実感しました。

商業英検は、海外営業で仕事していたこともあって、貿易に関する英語を勉強しようと思い、1998年にA級に挑戦して2回目で合格しました（英作文やり直し）。

さらに、世の中にはもっとすごい人たちが居ると聞いて、2001年春に、或る同時通訳・会議通訳専門学校を訪ねました。ここは入学テストがあり、8000円とられます。今でもはっきり覚えています。Excellent, Good, Fair, Improvement required の4段階評価。単語・文法はExcellent、日英通訳はFair、リスニングはImprovement requiredの最低レベルの評価でした。自分は英検1級を何度も合格しており、通訳ガイド試験も合格していたので、英語はものすごくできると思っていましたが、鼻柱をへし折られてしまいました。

そのレベルの高さに驚愕し、入学したら、初めの頃はクラスでビリでしたが、恩師と呼ぶべきすばらしい先生に出会うことができ、2年半の通学で、英語のリーディングとリスニング力を飛躍的に向上させることができました。普通は、自分でこんなことを言うと恥ずかしいのですが、これだけは、正に実感です。下線部が、クラス募集要項のキャッチフレーズでしたが、看板に偽りはありませんでした。

第2章 英検1級について

■英検1級の位置づけ

- 英語難関3大試験の一つ（英検1級、通訳案内士、国連特A級）であり、社会的評価が高い
- 合格者は、通訳案内士試験の1次試験英語免除特典あり（2006年度制度変更。社会科は要受験）
- 合格者は、一般的に、TOEICで900点台がコンスタントに取れる実力を有する

■英検1級の特徴（2004年度から新傾向に変わり、より実用的になった）

- 1次で、読む、書く、聞く、2次で、話す能力が問われ、4つの能力をバランスよく問う試験
- リスニングと英作文で、配点の55%を占める。単語に強くて読めるだけでは合格できない
- リスニングは、パート1から4まであり、リスニング能力を多面的に問われる
- 英作文は、完全記述式で、論理構成が問われる
- 読解は、学術的、時事的なものが中心
- 単語は、短文の中で、一つ一つの単語の正しい使い方を理解しているかを問われる
- 時間配分が大切である（推敲する余裕は無い）

■一次試験：

	点数	%
リスニング	34	30
英作文	28	25
読解	26	23
単語	25	22
計	113点	100%

■二次試験：

下記の4つの分野について採点されます。

Section 1 (SHORT SPEECH) 30点

与えられたトピックについて主要な点とその根拠をまとめ、首尾一貫したメッセージを組み立てる能力評価

Section 2 (INTERACTION) 30点

質問に対する応答と会話を継続する能力を評価

Section 3 (GRAMMAR AND VOCABULARY) 20点

幅広い範囲の語彙・文法を正確かつ適切に運用する能力を評価

Section 4 (PRONUNCIATION) 20点

正確な子母音の発音・音変化、適切なアクセント・イントネーションを運用する能力を評価

※スピーチのトピックは、5種類の中から1つを選びます

■ 試験日： 一次 二次
 2008 年第 1 回 06/15 07/13
 2008 年第 2 回 10/19 11/16
 2008 年第 3 回 01/25 02/22

■ 受験データ： 英検ホームページから引用

・ 級別、志願者数、合格者数

年度	1 級	準 1 級	2 級	準 2 級	3 級	4 級	5 級	合計
	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者	志願者
	合格者	合格者	合格者	合格者	合格者	合格者	合格者	合格者
2004	21,948	68,615	305,411	496,464	726,343	534,918	338,588	2,492,287
	2,136	7,881	68,196	185,238	382,695	386,927	288,654	1,321,727
2005	22,033	68,614	316,323	514,158	714,901	524,358	329,027	2,489,414
	1,949	8,462	74,608	187,407	372,605	370,310	277,980	1,293,321
2006	24,076	71,211	318,099	509,872	698,490	505,108	322,073	2,448,929
	2,456	10,198	69,987	183,655	375,472	359,897	272,114	1,273,779

・ 級別、最年少合格者、最年長合格者（2006 年度）

級	第 1 回検定		第 2 回検定		第 3 回検定	
	年少(歳)	年長(歳)	年少(歳)	年長(歳)	年少(歳)	年長(歳)
1 級	10	66	10	64	10	70
準 1 級	9	70	9	70	8	72
2 級	7	76	5	78	6	74
準 2 級	5	76	4	78	5	78
3 級	4	79	5	79	5	76
4 級	4	81	3	84	3	78
5 級	3	85	3	85	3	88

■ TOEIC, 通訳案内士試験、国連英検との違い

- ・ TOEICは、元々、アメリカに移民する外国人の英語力を判定するための試験であり、日常使うレベルの英語力を、読解とリスニングに分けて判定します。問題数が多くて忙しいですが、文章としては特に難しいものではありません。偏差値で判定され、文章はビジネスリーダーやホテル内のパンフレットなど、実用的な内容が中心です。
- ・ 通訳案内士試験は、独立行政法人 国際観光振興機構が主催する、いわゆる通訳ガイドの資格試験であり、2005 年度から制度が大きく変化しました。日本に来る外国人観光客を観光地

に案内する職業につく人の適正を問う試験であるため、一次試験では外国語と社会科（日本地理、日本歴史、一般常識）の試験が行なわれます。日本語の要素が大きく、読解問題（日本の特質に関する内容が目立つ）の日本語訳や、日本的事象を表す特殊な単語（野点、襖、皇居など）の配点が高いですが。リスニングはありません。合格者は2次面接で日本的事象に関する質問に外国語で答え、また、人物考査も行なわれます。

- 国連英検は、日本国際連合協会が主催し、外務省後援。試験では、国連組織と活動に関する知識も問われます。英作文は日本の国際貢献など、国連の活動に関連するものが出題されます。読解問題は、幅広い分野から出題され、とにかく問題の分量が多く、こなすのに苦労する試験です。リスニングはありません。二次試験は面接官との質疑応答形式で進められ、国連の活動、日本と世界との関わりなど、幅広い教養、国際感覚、自分のしっかりした意見を問われます。

第3章 英検一級合格の秘訣

■ 孫子の兵法

「彼を知り、己を知れば百戦危うからずと」有名な孫子の兵法です

英検攻略も同じことです。

彼を知り＝英検の試験内容を知り尽くすことです。

己をしる＝自分の実力を正確に知る事です

英検の力と自分の力を正確に比較し、英検の試験内容＜自分の総合的英語力 の状況を作り出すことです。

相手の正体がつかめれば、攻めどころをつかみ、勝利するための作戦を立てることは容易です。一番困るのは相手の招待がつかめないことですが、その点、英検は、年に3回も勝負してくれますし、問題文持ち帰りも自由、解答速報、点数通知も送ってくれますので、相手を知るには充分すぎるくらいの情報が手に入ります。この点で言えば、英検はくみしやすい、良心的な相手です。

反対に、TOEICは偏差値、通訳ガイドは合否通知が来るだけであり、自分がどこで間違ったのか、なぜ不合格だったのかわからないので、対策をたてるのが難しいのです。

さあ、英検を徹底的に解剖し、正体を明かし、打ち負かすための対策をたてましょう。きっと攻略できます。

■ 一次試験の攻略方法

＜読み、書き、聞きをバランスよく鍛え、弱みを持たない＞

英検一次試験不合格者の特徴－合格者とどこが違うのかという点について多くの受験者と懇談してきましたが、不合格者にはいくつかのパターンがあり、そのパターンの中では共通項があることがわかってきました。

パターン1：いつもどこかで大穴を開けるタイプ

試験を受けるたびに、いつも、読み、書き、聞き、のどこかで大穴を開け、点数が大きく変動する傾向をもった人です。

前回は読解に時間をかけすぎて英作文に15分しか使えず、充分に書けなかったために14点(28点満点)しかもらえなかった。それが原因で5点届かなかった。悔しさをばねにして英作文を一生懸命やって、次回は22点もらったが、今度は、読解で苦手な問題が出てあせってしまい、半分の13点(26点満点)しかとれず、前回より結果が悪くなった。今度こそはと、英作文と読解対策に精を出したが、今度はリスニングが頭に入らず、半分の17点(34点満点)しかとれなかった。そのために、あと3点で涙を呑んだ----こうした悲惨な状況を繰り返す受験者が多数居られます。

この人たちに共通していることがもうひとつわかりました。それは、パート1の単語(短文)問

題に強いことです。ほとんどの人が、18-22点(25点満点)コンスタントにとり、合格ラインである7割(18点)を超えています。つまり、この人たちは、単語の力は充分あるし、短文の形ではあれ、文法をきっちり理解した上での読解力も充分あるのです。

となると、何が原因なのでしょう。考えられるのは、単語と文法の力を出し切り、応用展開する力を発揮させない何かです。では、それは何なのでしょう。

原因1：自己管理、時間管理

受験という行為を自分でコントロールするセルフマネジメント、自己管理です。試験前に必要なのは、心身ともに最高の状態で受験するための体調管理、自分を鼓舞するイメージトレーニング、マインドコントロールです。試験開始後は、下記に述べる時間管理と合理的な問題処理方法が成否を分けます。

私は、試験開始前に自分に暗示をかけています。「我、無敵なり、我、不敗なり」と、心の中で何度も自分にささやくのです。これは、昔、テレビアニメで話題になった「流浪人剣心」の宿敵である黒笠という剣豪が、剣心との果し合いをする前に自分にかける暗示です。真剣を抜いて、真剣に語りかけるように暗示をつぶやくと、その言葉が刀に反射して、黒笠に届き、筋肉もりもり、さらにすさまじい剣豪に変貌します。黒笠の声は、有名な声優の大塚周夫さんなのですが、その声が私の耳にこびりついています。

試験前に「我、無敵なり、我、不敗なり」と何度も自分にささやきかけると、心が落ち着き、合格への確信が沸くのです。この会場は50人居て、一次試験に残るのは5人から10人。自分は必ず残る、という確信が得られるのです。こうするとしめたものです。落ち着き払って、自分で試験をコントロールしていくことができるようになります。頭の中が澄み切って、読解問題もすいすいと理解できるようになります。

実は、更年期障害を抱えた中年女性にもこのパターンが見受けられます。試験会場で突然頭が働かなくなり、読んでも聞いても頭にまったく入らず、スピーチするときでも何も語れずに沈黙してしまう人が居るようです。私は男性なので、アドバイスの仕様が無いのですが、自分をプラス思考にするイメージトレーニングが有効ではないかと考えています。

原因2：読み方を知らない

読解問題の処理の仕方を間違えているために、無駄な時間をかけてしまい、制限時間内にきっちり読み解けず、正解を見つけることができないパターンです。詳しくは、読解問題の攻略をお読みください。

原因3：自分の意見を持っていない

これは、日頃から、世の中の様々な事象についての知識を収集し、自分の意見をまとめる習慣が無いために、英作文が書けないというパターンです。英語以前の課題と言ってもいいでしょう。

例えば、英作文の課題に、「遺伝子操作食品は危険か？」というTOPICが出たとしましょう。英検の英作文は、6個のPOINTSを例示し、その中から3個を選んで論じよという問題設定になっています。その意味では、書く内容についてヒントをくれているのですが、ヒントがあっても、

普段から、そうした点について考えていないと、咄嗟に、しかも 30 分以内で、論理的な英文を書くなど至難の業です。書けたら不思議なくらいです。

実は、この点は、2 次面接に直結する課題でもあります。2 次面接では、簡単な会話のあと、机の上にある裏返しのシートをひっくり返すと、5 つのトピックスが書いてあります。1 分以内でひとつを選び、スピーチ内容を考え、直後に 2 分間でスピーチするという難しい課題に取り組みます。結論から言うと、日頃から自分の意見をまとめたスピーチのストックを持っていないと対応は不可能です。「日本の漫画やアニメは、伝統的な文化を超えるものか?」「日本の国際貢献」「少子高齢化への対応」「女性は差別されているか?」「日本は学歴偏重社会か?」といったトピックに対して、コンパクトに自分の意見をまとめおく準備が必須です。しかも、そういうストックを 200~300 個ストックしておき、その中から引っ張り出し、話を組み立てるということが成功の鍵です。英作文も同じことであり、日頃から世の中の事象に対して幅広く知識を集め、自分の意見をまとめておくという準備があつてこそ、しっかりとした英作文を書くことができます。

パターン 2 : 帰国子女タイプ

海外で生活したことのある高校生の例で見てみましょう。

	得点/配点	得点率 (%)
単語 (短文)	10/25	40
読解	15/26	58
作文	16/28	57
聴解	28/34	82
計	69/113	61 不合格 B

ここから見えてくるのは、現地で生活していたために、聞き取りが抜群であり、日常会話は上手だが、ハイレベルの英語力を身につけるまでには到っていないということです。

配点の 25% を占める英作文は、課題を出すとかかなりしっかりした英文を書いてくるので、下記で詳しく述べるような練習をすれば、70~80% の得点は可能であり、4~6 点改善が期待できると見えています。

読解は、クラスで、合理的な読み方を身につけてもらっているので、飛躍的な向上が期待できません。

最大の課題は単語 (短文) です。これは、下記で詳述する方法で、地道に取り組んでもらいます。

この高校生の圧倒的な強みは、配点の 30% を占めるリスニングに強く、落ち着いて聞くことができれば、8 割以上の得点がコンスタントに期待できることです。単語と読解力が向上すれば、リスニングも相乗効果でさらに改善することは間違いありません。

<英検二次試験合格の秘訣>

■ 困難なショートスピーチ

私は、英検二次試験が苦手です。なぜかと言うと、英検の面接（だけ）は、2分間のショートスピーチをさせられるからです。これまで、多くの2次面接試験を受けてきました。商業英検、国連英検A級、国連英検特A級、通訳ガイド、通訳案内士試験は、ショートスピーチは無く、最初から最後までインタビュー形式です。私は、このインタビュー形式が得意であり、2回連続で合格した国連英検特A級では2回とも、満点に近い評価を得ました。

英検は、最初に簡単な会話をした後、机の上のシートをひっくり返して、1分間で5つのトピックの中からひとつを選び、2分間でスピーチすることを求められます。これが難しいのです。選択肢が5つあるとは言え、いきなりトピックを与えられ、できそうなものをひとつ選んで、2分間という制限時間内で、しかも起承転結の形できちんと話すことなど、土台無理です。私のやり方を二つ紹介します。

① 論旨を箇条書きで整理しておく

日本語で、自分の意見を箇条書きにしたトピック集を200個くらい用意しておき、ちょうど、本棚に置いてある本の中から、関連のページを引っ張り出すような感じで頭の中を整理します。そして、そのポイントに沿って、英語でしゃべっていきます。これを一瞬でやるのですからたいへんです。本来は2分間の英語のスピーチ集を作り、そらで言えるようにするのが一番いいのですが、用意できるストックには自ずと制限があります。丸暗記にだけ頼ると、予想もしなかったトピックが出たときにはパニック状態に陥りますので、基本的に、論旨の整理だけにとどめ、あとは、面接現場で状況に応じて対応するようにしています。

この章の最後に、私が作っているトピックのリストと、論旨のまとめ方の一部を紹介します。

② 2分間でショートスピーチを終わらせる必要は無い

私は、2分間の制限時間内でスピーチを終えたことが一度もありません。いつも、話し始めてから、言いたいことの半分くらいでタイムキーパーからストップがかかります。このあとは二つのパターンで進みます。

1. Please complete your speech と促してしゃべらせてくれる
2. では、complete できなかった内容について議論しましょう。

最初の頃は、2分間で起承転結を入れて話さなければならないと思っていたのですが、段々とそうでなくても大丈夫だということがわかってきました。2分間で終わらなくても、あとの質疑応答でカバーできるということです。

■ 採点基準

ショートスピーチ：30点、Interaction：30点、発音：20点、単語・文法：20点です。私は、いつも発音は14点、単語・文法は16点でしかももらえませんが、私の力はどうせそんなものです

から、それでいいと割り切り、それで充分満足しています。ショートスピーチでしどろもどろになっても、しゃべっていれば半分の15点はもらえるでしょう。発音14点+単語・文法16点+ショートスピーチ15点=45点です。合格ラインは60点ですから。面接官とのやりとりの中で、最低でも、半分の15点もらえば合格です。きっちりと会話を楽しめれば、21~24点くらいはもらえます。つまり、ショートスピーチがよほどへたくそでも、面接官とのコミュニケーションがきっちりできていれば、余裕で合格できます。

ここで、面接官の立場で考えてみましょう。2次面接で何を重視して合否を判定するかという点です。あなたが面接官ならどう判定するでしょうか？ よほどへそ曲がりでないかぎり、この人は、英語でコミュニケーションができるかどうかという観点で見ているはずですが、日本人発音丸出しでも、簡単な単語しか使わなくても、流れるようなコミュニケーションができれば、合格にするはずですが、私が面接官でもそうします。文法や単語の基礎力があることは、1次試験で実証済みです。よほどのことがないかぎり、そのセクションは7割もらえるはずなのです。

既に述べたように、ショートスピーチは誰がやっても極めて困難な課題です。日本語で同じことをやれと言われても、戸惑ってしどろもどろになること請け合いです。ですから、2分間の英語のショートスピーチがうまくいかないのは当然なのです。ここがパーフェクトにできる人は、よほどの達人か、ヤマがあたって、丸暗記したスピーチが澁みなくできた人でしょう。

つまり、2分間のショートスピーチがしどろもどろであっても、面接官とのやりとりができておれば合格は充分可能なのです。私は、そのことを実証してきました。

■ 中年男性に特徴的な課題

中年男性は、前述の1次試験のパターン1に加えて、このパターンが目立ちます。せつかく苦勞して一次試験に合格しても、スピーチが苦手で、2次試験にどうしても通らないというケースを沢山見てきました。

合格率が6倍に広がった通訳案内士試験がその典型ですが、一次試験に通ったシニアの男性が枕を並べて討ち死にという状態が目立っています。これは、シニアの男性は、単語をよく知っており、単語、読解、英作文は強いが、話しなれていないために2次面接で簡単な会話にもついていけないという特徴の表れです。

一次試験で高得点をとる英語の基礎力があり、ネイティブ教師による会話の授業をやっても2次の面接で不合格になるのは、英語以前の問題があると考えざるをえません。いわゆる、attitude, interaction, deliveryに問題がありそうです。

その人たちの発音は典型的な日本人発音ですが、私が知っている現役通訳ガイドは、流暢にしゃべりますが、典型的な日本人発音です。このように考えれば、問題の所在と対策も見えてきます。私も、中年男性です。発音は typical Japanese です。7割以上の得点をもったことは一度もありません。その代わりに、パンチとか、interactionで点数を稼いでいます。

■ 論旨整理のサンプル：

1. 携帯電話の益と害

- ・いつでもどこでも通話可能

- ・便利機能：時計、メール送受信、インターネットによる情報入手、アラーム、日程管理
 - ・携帯電話が無いと生活できない
 - ・いつでもどこでも電話をかけられるということは、いつでもどこでもかかってきて大変
 - ・私の家族は4人で毎月4万円も払っており、便利だが高くつくので要注意
 - ・紛失したときに困るので管理に注意を要する（docomoだけで月10万件紛失届け有り）
2. 日本の高齢化社会
 - ・女性が子供を産まなくなった。合計特殊出生率が1.32
 - ・すでに5人に一人が65歳以上。2050年には4人に一人が75歳以上の高齢社会
 - ・働いて税金を払い社会を支える人より、年金をもらう人のほうがはるかに多くなり、日本は深刻な社会的問題に直面している。⇒年金崩壊、財政赤字、労働力不足
 3. 日本人はなぜ貯蓄をするのか
 - ・将来に対する漠然とした不安に備えるため、年金崩壊
 - ・国家の社会保障政策への不安感
 - ・自助努力の美德
 4. フリーターが増えるのはよいことか
 - ・フリーターが増えるのは不況が長引き就職が難しいことが主な原因である
 - ・フリーターはアルバイトであり身分も収入も不安定-とても家族を養えない
 - ・親に経済的余裕があることも支えになっている
 - ・若者のライフスタイルや価値観の変化と言うが私は---思う。
 5. 定年を65歳に延長すべきか
 - ・少子高齢化で労働力が不足することは間違いない。あと数年すれば、日本は死亡数が出生数を上回り人口減小に向かい、2015年には65歳以上の高齢者が3人に一人と予想されている
 - ・今は60歳定年だが殆どの方がまだ元気で働くことができるし仕事する意欲もある
 6. 外国人労働者を増やすべきか
 - ・少子高齢化が進み、2015年には4人に1人が65歳以上の高齢者になる
 - ・不況が長引き今は就職が難しいがいずれ労働力不足が顕在化する
 - ・外国人労働力導入と言うが、多くの場合、日本人がいやがる3Kの仕事-安く使う発想
 - ・労働力不足は、女性労働力と65歳以上の高齢者の活用で対応可能である
 7. 少子高齢化社会への対応
 - ・統計からすると労働力が不足する
 - ・失業者の多さ
 - ・外国人労働者輸入は早計
 - ・女性と高齢者の労働力活用が求められる
 - ・女性が安心して子供を産み、育てることができる社会環境整備が重要
 8. 移民受け入れ
 - ・少子高齢化
 - ・労働力不足
 - ・失業率の高さ

- ・ 65 歳定年
- ・ 女性と高齢者の労働力活用
- ・ 女性が安心して働ける社会的環境

9. 退職後の過ごし方

- ・ 今は 60 歳定年だが、私が定年を迎える頃は 65 歳定年が当たり前と予想する
- ・ 自分のキャリアを活かして、世の中の役に立ちたい
- ・ 再雇用のチャンスがあるなら、週 3 日でもいいから働きたい
- ・ 地域ボランティア活動で社会に貢献したい
- ・ 世界一周旅行したい
- ・ 大工仕事が好きなので自分で家を建てたい
- ・ 日本百名山に登覇したい
- ・ ハワイでのんびり暮らしたい

10. ホームショッピングは好きか

- ・ テレビでホームショッピング専門チャンネルがあるが、うさんくさくて私は興味ない
- ・ 小売り店を通さないから値段が安いと言うが、テレビの宣伝費が莫大なはず
- ・ 最近、本はインターネットで注文することが多い。検索に便利。配達も迅速。大型書店に行っても本の数が多すぎて探せない
- ・ ホームショッピング番組で興味を持って注文したが、期待を裏切られた
- ・ ホームショッピング番組で興味を持って注文したが、粗悪品だった

11. インターネットは安全か

- ・ インターネットだけでなく、世の中は様々な危険に満ちている
- ・ 戸締りをしないと泥棒に入られるし、パスワードを盗まれると損失を蒙る、インフルエンザウイルスにやられる
- ・ ID やパスワードの管理、ウイルス対策を励行すればこんなに便利なものはない

12. 人類でもっとも役に立った発明は

- ・ 電話、飛行機、テレビ、コンピューター-----身近なもので自分にとって最も便利なもの
- ・ その便利さを語る。それが人類にもたらした功績を語る

13. 男性は育児に参加すべきか

- ・ 共働き夫婦が多いが女性に負担がかかっている
- ・ 男女同権の立場から、男性も育児、家事に参加すべきだが、日本社会はそこまで成熟していない。育児や家事のために有給休暇を取ることが当たり前のこととして許容される社会ではない

14. 遺伝子組替え作物の効用と危険

- ・ 病気や害虫に強い品種に作り変えることで生産量増加が可能になり、貧困国の飢餓問題を解決できる。食べるのがやっとの貧しい人々へは大きな福音である
- ・ 長期的な健康への影響が心配されるが、科学的研究によって安全性が保障されれば導入を認めるべきである

15. 日本は安全か

- ・ 凶悪犯罪発生率、銃による死亡者数から見れば日本は安全な国だと言える
- ・ 盛り場などの特定の地域が危険なのはどこでも同じ

- ・ 検挙率が落ちているので昔ほど安全とは言えない
16. 人にとって外見は重要か
- ・ 人は基本的に第一印象で判断される。中身は長くつきあわないとわからない。だから外見は重要である。
17. 学歴社会について
- ・ 安定したい生活⇒いい会社⇒いい大学⇒いい高校⇒いい中学⇒いい小学校⇒塾
 - ・ バブル崩壊後この図式は崩れつつあるが受験戦争は下火にならない
18. 英語を公用語とすべきか
- ・ する必要を感じない
 - ・ 公用語にするということは役所の申請書などもすべて日本語と英語を用意するというものであり、生易しいことではできない
19. 日本の教育制度について
- ・ 詰め込み、画一的教育-規格大量生産工業化社会に適応した教育
 - ・ 飛び級、学力別学級編成、個性と自己表現力を伸ばす授業
20. 予備校や塾が繁盛する理由
- ・ 恵まれた生活⇒いい会社⇒いい大学⇒いい高校⇒いい中学⇒いい小学校⇒いい塾
 - ・ このパターンは揺らいでいるが崩れてはいない
21. 学級崩壊はなぜ起きるか
- ・ 家庭のしつけの問題
 - ・ 生徒が興味を持つ授業内容への工夫
22. 受験戦争の功罪
- ・ 世の中の仕組（いい生活⇒いい会社⇒いい大学⇒いい高校⇒いい中学⇒いい小学校⇒塾）
 - ・ バブル崩壊後世の中の価値観変わった
 - ・ 規格統一的な人間を大量につくるには適当な仕組み⇒日本の経済成長
 - ・ 詰め込み教育⇒想像性は養えない
23. 留学の是非
- ・ 私の知人は英語の達人であり、プロの同時通訳をやっている
 - ・ 彼女は、中学、高校、大学をアメリカで過ごした
 - ・ 英語は抜群だが、日本語に不安がある
 - ・ 同時通訳者として彼女の最大の悩みは日本人としての常識や教養が人並みであること
 - ・ 外国語習得が目的なら留学は手っ取り早いだが、挫折する例が多いと聞いている
 - ・ 現役同時通訳で活躍している殆どの人は留学経験が無く、日本で必死で勉強したと聞いている
 - ・ 明確な目的意識と覚悟がなければ、留学は外国語マスターにはつながらない
24. 若者が結婚しない理由
- ・ コンビニや外食産業の発達で、一人暮らしでも困らない
 - ・ 女性の価値観の変化（家事洗濯・子育ての人生に疑問、金銭的余裕）
25. 憲法改正
- ・ 戦後できた日本国憲法は 60 年近く修正無く存在してきた。この間、日本を取り巻く環境

は大きく変化した。ドイツやアメリカなどの憲法は、時代の変遷に合わせて修正を重ねている。

・日本は、自民党と社会党の対立が長く、憲法九条と自衛隊についてのイデオロギーの違いから、憲法が見直されることがなかった。基本理念は保持すればよいが、時代に合わない条項は修正したらいいと思う。天皇絶対性の明治憲法や聖徳太子の十七条の憲法が存在したらおかしいが、これはそれらが時代にそぐわないからである。だったら、日本国憲法も見直すべきである

26. 投票率を上げる手段

- ・ 政権交代を予期させる伯仲した選挙（一票の重みを実感させる選挙の組み合わせ）
- ・ 投票所数増加（駅、銀行、コンビニなど）

27. 人類にもっとも役立った発明

- ・ 電灯、コンピューター、電話

28. 国連での活動について

- ・ 日本は国連分担金の20%近くを払っており金銭面で多大の貢献をしている
- ・ 国連平和維持軍への参加、選挙監視団、インフラ整備などの非戦闘活動

29. 環境保護のためにあなたができること

- ・ ゴミの分別⇒リサイクルを容易にする
- ・ ゴミを出さない⇒折りたたみのバッグ持ち歩き店で包装紙やプラスチックバッグもらわない
- ・ 割り箸を使わないように自分の箸箱を持ち歩く

30. 健康増進のためにあなたがやっていること

- ・ 特別なことはやっていないが、朝晩通勤時30分ずつ早足で歩き、オフィスでも駅でもエレベーターやエスカレーターは使わない
- ・ 食べ過ぎに気を付け、会社の食堂では野菜のサイドディッシュを取るなど栄養のバランスに気を配っている

31. 安楽死について

- ・ もし私が、治る見込みの無い病で長年苦しむとしたら、安楽死の道を選び医師に依頼したい。なぜなら、父を長年看病した母の苦しみを知っているからだ
- ・ 私の看護のために、私の家族の人生がとらわれとなるのは耐えられない

32. 本は電子ブックに置き換わるか

- ・ 技術の発達により、電子ブックが現実のものになってきたが、私は使おうとは思わない
- ・ ディスプレーで読むことに抵抗がある
- ・ オフィスでも多くの人が電子データを印刷してから読んでいる。
- ・ とは言っても、何年かしたら電子ブックを読んでいるかもしれない。英語の辞書もいつのまにか電子辞書の便利さにすっかり慣れてしまった

33. サマータイム実施の是非

- ・ サマータイムは、緯度が高く太陽光が少ない国にはメリットがあるが日本では特に無くて良い
- ・ 北欧では夏になると朝3時頃から明るいので、仕事の開始を早くすれば電力の節約になる

- ・日本でも戦後導入されたがすぐにやめになったと聞いている
 - ・日本では「まだ明るい・仕事しよう」となり、残業が増える効果しか期待できない
34. 人間の幸せとは何か
- ・地位、名声、経済的成功だけではない
 - ・健康でなければどんなに経済的に豊かでも幸せになれない
 - ・皇太子後の雅子様は人がうらやむ身分だが、周囲の締め付けが厳しく幸せではない様子
 - ・家族や友人に恵まれない人も幸せとは言えない
 - ・先日、ある人の葬式に行った。その人は幸せな人だったと思った。というのは-----
35. 新幹線路線増強是非
- ・東北、北陸、南九州に新幹線が建設されている。需要から見ると建設費の元は取れない
 - ・地域の人にとっては待ちに待った建設である。交通が便利になるし、建設で仕事も増える
 - ・不要だと言うのは既に新幹線の便利さを享受している都会の人だ
 - ・自然破壊。ローカル線廃止で生活に便利とは必ずしも言えない
36. 日本の安全保障
- ・日米安保条約の位置付け
 - ・国連での活動
 - ・自衛隊の位置付け
 - ・平和憲法との関係
37. 原子力発電
- ・日本の電力の4割は原子力発電
 - ・日本は原爆被害を受けた唯一の国
 - ・水力発電
 - ・火力発電
 - ・代替エネルギー---太陽電池、風力
38. 外国語習得
- ・国際化
 - ・学ぶなら早いうち
 - ・ネイティブ教師招聘
 - ・文法でなく、聞く、話す中心に
39. デジタルデバイス
- ・現代は、情報を活用できる者が多くの収入の機会を得る。コンピューターを使って、インターネットという情報の宝庫に接続し、情報入手ができるかどうかで収入に大きな差が生まれる。
 - ・パソコン購入や取り扱い操作訓練に補助金出し、誰でも使えるようにする奨励策必要
40. ファストフードの功罪
- ・共働きなので頻繁に使う
 - ・安い、早い、美味しい---サラリーマンの味方
 - ・脂肪分や塩分が高い食品が多いので栄養バランスに要注意
41. クレジットカードの功罪
- ・現金を持ち歩かずに済むので安全

- ・支払いを遅らせることができるので金利分得
- ・ポイントがたまり、商品券などをもらえるメリットあり
- ・提携している店やレストランなどで割引が効く
- ・銀行やコンビニに行かなくても支払いが済む。英検申し込みも自宅でOK
- ・使い過ぎないように注意が必要
- ・現金も同じことだが、紛失しないように管理が大切

42. メールの功罪

- ・電話は相手の都合にお構いなくかかってくるので迷惑
- ・メールは、都合のいいときに読めるので受け手にとっては便利
- ・事前に要点を書いて送っておけば会話も短くて済む
- ・メールは相手と対面していないので、気に障るような言葉づかいをしてしまうこと
- ・フェイスツーフェイスのコミュニケーションが大事

43. 日本の漫画やアニメは伝統文化を超えるか

- ・電話は相手の都合にお構いなくかかってくるので迷惑
- ・メールは、都合のいいときに読めるので受け手にとっては便利
- ・事前に要点を書いて送っておけば会話も短くて済む
- ・メールは相手と対面していないので、気に障るような言葉づかいをしてしまうこと
- ・フェイスツーフェイスのコミュニケーションが大事

44. 学校での軍事訓練は必要か

- ・国防目的なら、志願制の自衛隊があるから不要
- ・躰に役立てることが目的なら、手段として不適當。軍隊は所詮人を殺すことを習う集団

第4章 単語の勉強方法

■ 単語を単語帳のままで機械的に覚えるのは労多くして益少なし

単語帳を否定するものではありませんが、単語を、ひとつずつ、単語帳に載っている通りの意味で機械的に覚えていくのはほとんど意味がないというのが私の意見です。言い換えれば、単語帳は、使い方を工夫すれば大いに役に立つということです。この言い方だと、ほとんどの人が違和感を持ち、ぴんと来ないと思います。私の手元に有る単語帳の中からわかりやすい例を挙げましょう。

Exemplify ～を例証する、実証する

何のことかわかりますか？ 仮に意味がおぼろげながらわかったとしても、どういうときに、どのようにしてこの単語を使えばいいのかわからないでしょう。少なくとも、私にはわかりません。試しに、英々辞典を引くと、同義語として represent と illustrate が出ています。

A To illustrate by example: exemplify an argument

B To serve as an example of: scenes that exemplify the film director's style

これなら意味がわかるし、英作文やスピーチでも使えます

■ 単語は単語の塊で覚える

もうひとつ、例を挙げましょう。～を放棄する relinquish abandon renounce

息子が土地相続の権利を放棄した、日本国憲法の戦争放棄、要らなくなったから捨てる

どの単語をどれに使えばいいのかさっぱりわかりません。使えない単語は知らないのと変わりません。それに、使わないからすぐに忘れます。

日本国憲法の第9条、戦争の放棄は renunciation of war であり、relinquishment of war や abandoning war ではありません。これは、日本国が世界の人々に対して、平和の誓いを広く宣言するという意味を含んでいるからこそ、renounce をわざわざ使っているのです。

renounce は renunciation of war で覚えるのが効果的です。こうすれば一生忘れないし、使うべき場所を間違えないし、英作文やスピーチですぐに使えるし、renounce が動詞、renunciation が名詞であることが一度に覚えられます。

■ 単語は短文で覚える

英検は、毎回、25個の短文問題を出します。20か21個が単語選択、残りが熟語の選択です。選択肢が4つ。私は、英検の過去問を集めて編集し、正解の選択肢を入れた形の短文を1000個近く作っており、それを丸ごと覚えてしまいます。こうすれば、単語や熟語を使う正しい場所だけでなく、文型も覚えられますし、英作文やスピーキングにも直結します。英作文は、短文の集まり、短文は単語の集まりです。

1~2 行程度の短い完結した文章を丸ごと覚えてしまうのです。20 回くらい音読すれば記憶できます。忘れたら復習すればいいのです。復習するときは前回のベースがあるから早く記憶できます。

英検の短文問題は 4 択から正解を選びます（下記は 2007 年度第 2 回の過去問です）

It took Ken a few weeks to () the courage to tell his parents that he had failed two of his final university exams.

1. pester 2. dangle 3. wriggle 4. muster

正解は 4. muster ですが、ここで勉強を終わるのではなく

It took Ken a few weeks to muster the courage to tell his parents that he had failed two of his final university exams.

という、正解が入った短文を用意し、丸ごと覚えるのです。10 回も音読すれば暗記できます

これを 1000 個マスターすれば、誰だって英語の達人になれます。私も紆余曲折しましたが、この方法がベストというのが結論でした。因みに、この方法は、大学入試対策としてもそのまま使えらると思います。

■ 単語は、名詞、動詞、形容詞、副詞、同義語、反意語を関連付けてダイナミックに理解する

eulogy が出たら、葬式の弔辞や追悼演説を思い浮かべる。moving eulogy で感動的な弔辞を思い浮かべる。pay tribute to とどう違うのか辞書で調べておく、ついでに pay homage to とどう違うのかも調べておき、3つの表現をまとめて整理しておくことが大事です。こうすれば一生忘れません。単語帳の中の eulogy という単語を単純に弔辞と記憶するだけでは何にも役にたかないし、覚えることが苦痛でさえあります。単語は、応用展開することで楽しい勉強に転換することができます。

erupt 噴火するが出たら、volcano 火山を思い出す。ついでに、活火山(active volcano)、休眠火山(dormant volcano)、死火山(extinct) volcanoを思い出す。extinctが出たら、extinct species、ついでに、絶滅に瀕した endangered species もセットで整理しておく

abhor ひどく嫌う、忌み嫌う、憎悪する、abominate 忌み嫌う、憎悪する (=loathe, abominate, detest) animosity 悪意、敵意、恨み、憎悪、antagonism 敵意、反対、反抗心、反目、敵対

手元の単語帳の最初の数ページから引っ張り出しましたが、似たような意味の単語ばかりが並んで混乱するので、セットにして整理整頓することが大事です

Arctic が出たら Antarctic、ついでに North pole South pole もセットで覚えましょう

1500 個くらいの重要単語・熟語についてこのような押さえ方をしておけば、すばらしい英語の使い手になることは明らかです。

■ 単語は、背景や使っているシーンでビジュアルに記憶する

<例 1 : appease>

appease が出たら **appeasement** を思い出す。appeasement は appeasement policy を思い出す。appeasement policy は宥和政策と訳される。これは、1938 年、ヒットラーの山荘でイギリスのチェンバレン首相、フランスのダラディエ外相が会談し、欧州大戦を防ぐべくヒットラーを宥めた会談ですが、チェコの分割を許したにもかかわらず、1939 年にはドイツはポーランドに攻め込み英仏はついにドイツに宣戦布告します。このことは世界史の教科書にも書かれています。appease だけ覚えても、ほとんど使い物になりません。Appeasement policy として、現代史の中で理解していけば使えるし、記憶が確かになります。

<例 2 : enigma>

enigma は摩訶不思議な力を持ったものを表現する単語です。元々は、第二次大戦中にドイツ軍が使っていた、機密文書を暗号に組む機械ですが、イギリス諜報部はそれを手に入れ、天才的な数学者を使って解読に成功します。大戦中のドイツ軍の機密文書はすべて連合国側に漏れていました。ドイツ空軍がコベントリーという町を大空襲し、壊滅させ、多くの犠牲者を出しました。この町が狙われたのは、スピットファイアという戦闘機のエンジンを生産するロールスロイルの工場があったからです。チャーチル戦争内閣はこの空襲の情報をほぼ正確につかんでいましたが、避難命令を出すと、暗号が解読されていることをドイツ側に知られてしまうので、避難命令は出されませんでした。戦争に勝つというより大きな戦略のために、多くの、無辜の一般市民の生命が失われた事件です。こういう背景を知っていれば、enigma という単語を一生記憶することができます。

■英検の単語にまつわる神話のうそ

英検のパート 1 に出てくる単語や熟語は奇問難問であり、ネイティブでもわからない---こういう伝説がまことしやかに囁かれています。根拠のないうそです。あそこに出る単語の大半は、タイム、ニュースウィーク、エコノミストなどで普通に出てくる単語です。

オックスフォード大学卒のイギリス人の友人に解かせたら、あっという間に全問正解でした。できなかったというネイティブは、よほど教養に欠ける人だったのでしょ。

タイム、ニュースウィーク、エコノミストなどが辞書無しで読める人は、パート 1 の単語・熟語選択問題であっという間に満点をとっても不思議はありません

■ 英検 1 級短文集一新傾向 2004-1 から 2007-3 まで 12 回分、300 個の問題を、正解を入れた短文として私自身が編集したものです。英検がどの程度のレベルの試験なのかをつかむためにも有効な情報ですし、何よりも、これを丸暗記するくらい学習すれば、英語力の飛躍的向上につながることは間違いありません

2004-1

1. The wedding ceremony turned into a complete fiasco when the bride suddenly confessed that she was already married.
2. I couldn't follow all of the President's speech, but I understood enough to get the gist of what he was saying.
3. With more than 60 books to his name, the novelist was one of the most prolific of the twentieth century.

4. Hundreds of residents were left **destitute** after the earthquake destroyed their town.
5. Rather than **venting his frustration** by yelling at co-workers, the manager would step outside the office and take a deep breath when he felt angry.
6. When the cable-TV company conducted a survey about the quality of its service, customers responded with a **barrage of complaints**.
7. Ms. White made her latest expedition under the **auspices** of Globe 2005, a group that has been sponsoring her record-breaking treks for 10 years.
8. The man was forced to **pawn his watch** to help pay the rent, but he got it back when his next paycheck arrived.
9. John realized that it would take many years to **recoup the money** he had lost in the stock market.
10. For Sale: Rare collection of 1960s records in **pristine condition!** Some never opened. Call 555-1212.
11. Guards at Ipswich Prison managed to **thwart an escape attempt** last night. Prisoners tried to climb over the wall but were caught before they could get away.
12. The presidential candidate said that it was time to halt the **polarization of society into the haves and the have-nots**. "If elected, I will be a force for unity," she claimed.
13. Rugby star Johnny Martin has finally ended the recent **media speculation** about his future by announcing his retirement from the sport.
14. Efforts to supply blankets and tents to people made homeless after the massive flood have seriously **depleted the aid agency's funds**. "We urgently need more donations now to keep up the flow of aid," said a spokesperson.
15. Under pressure from environmentalists, Watney Council has voted to create a 40-acre **buffer zone** to protect Watney Marsh, a haven for wild birds, from a planned industrial estate.
16. Star striker Jason Cohen hopes to **emulate his father** by leading his team to victory in this weekend's cup final. Cohen's father, George, scored the winning goal in the 1970 final.
17. The prime minister claimed at a media conference Thursday that no nation is **immune to** terrorism. She said that terrorists can strike anywhere and at any time.
18. The young couple **agonized** over whether to sell their house, but finally decided to after realizing it was the only way to save the family business.
19. After the drunk became **belligerent**, the bar manager was forced to call the police and ask that the man be removed from the bar.
20. A : Do you really think you'll be able to win the championship this year? B : It'll be a **cinch**. We have the strongest lineup in the league.
21. Journalists **delved into** the politician's past in the **hope of** uncovering some scandal.
22. I hurt my knee playing football in university, and now it tends to **act up** in cold weather.
23. None of the students would **own up to** breaking the window, even though the teacher said that no one would be punished.
24. Although it is a slow process, major video rental stores are beginning to **phase out** videos

in favor of DVDs. One manager estimates that videos will be a thing of the past by 2010.

25. Her mother-in-law called to say she was coming to visit that evening, so Ellen rushed to whip up something quick for dinner.

2004-2

26. The scholar claimed to have discovered a new poem by Shakespeare, but a group of handwriting analysts proved that it was a forgery.
27. Joe took two weeks off to recuperate after his surgery. He's now fully recovered and back at work.
28. The demanding manager put relentless pressure on his staff by raising their sales quota every month,
29. "Our nuclear weapons are there as a deterrent against attack," declared the new prime minister. "We would only use them if no other options were open to us."
30. No conditions stipulated in the contract shall be modified without mutual agreement.
31. As the strongest proponent of the bill to protect his state's wetlands, Senator Collins worked tirelessly to ensure its passage through the legislature.
32. The company's lackluster sales performance was blamed on a stubborn refusal to change its outdated product line.
33. The climb up the mountain was a long, arduous one that left everyone out of breath.
34. After months of being followed and stared at, the famous young singer longed for her former anonymity.
35. All of the job applicants were similarly qualified, but the interviewers were swayed by the fact that Steve could speak French.
36. Opponents blasted the presidential candidate's latest TV advertisement as blatantly dishonest, "There is not a shred of evidence to back up the claims he makes," said one senator.
37. It took several hours for the men to heave the sacks of cement onto the truck, and another hour to unload them, at the construction site.
38. The young tennis player, once touted as the next superstar in Russian tennis, has struggled to meet expectations due to a series of injuries.
39. "Fraudulent investment schemes are a growing problem," warned the speaker, "Thousands of ordinary people have been cheated out of their savings."
40. As Brandon walked past the abandoned building, he had the eerie feeling that he was being watched.
41. The boxing champion may be ruthless inside the ring, but outside he is an affable character who is quite happy to sign autographs and chat with fans.
42. The ordeal of moving to a foreign country with no knowledge of the language or culture was made much easier for me by the support of my host family.
43. The famous young actor liked to flaunt his wealth by taking friends on lavish shopping sprees.
44. Thanks to the worldwide success of its new line of software, the firm's sales eclipsed all expectations, exceeding the previous year's by \$100 million.

45. The two-day training program for the new employees was carried out so haphazardly that many were confused about even their basic job responsibilities.
46. With just seconds left on the clock, the basketball coach exhorted his team to make one final effort. "Now go out there and prove that you're the best!" he shouted.
47. With daylight running short and still no sign of the lost hikers, the search party fanned out to cover more territory.
48. "I appreciate how nice you're being to me all of a sudden," the father told his two sons, "but I know when I'm being buttered up . Now, what is it you want?"
49. I know that Ben can churn out articles very quickly, but I wish he'd pay more attention to detail. There are full of spelling mistakes.
50. When I confronted John about his lack of effort at work, he just rattled off a list of excuses. His attitude really disappoints me.

2004-3

51. The bullet was so deeply embedded in the soldier's back that a long operation was required to extract it.
52. The new secretary was sternly admonished for taking a long lunch break three days in a row.
53. Many fruit-growing regions have a large transient population that arrives each year to help with the harvest and then moves on to other places.
54. It takes a shrewd businessman to make money in the restaurant industry, where risks are high, profits are low, and many establishments fail within the first two years.
55. Chad's donating of so many clothes to the homeless was not as altruistic as it looked; he merely wanted to clean out his closet to make space for some new suits.
56. A : Doc, my back cramps are still excruciatingly painful. Are the test results back?B : Not yet, but your symptoms suggest that you have a kidney stone.
57. The writer refused to read reviews of his work, regarding any criticism as a personal affront .
58. We tried to placate the angry customer by offering to replace the faulty parts, but he still demanded a full refund.
59. Smallpox was a devastating disease for generations but has now been eradicated in all parts of the world.
60. The allure of Hollywood attracts many young would-be actors and actresses, but only a few make it onto the big screen.
61. The audience was impressed by the candor with which the prime minister answered the interviewer's questions about his private life.
62. Although the ship captain seemed rather intimidating at times, beneath his facade was a compassionate man.
63. His opponent said the president's recent pledge to lower taxes was just a gimmick to create a favorable impression on voters.
64. The new managing director, heedless of the warnings of his economic advisors, plunged the company further and further into debt.

65. The manuscript of the famous writer's first novel had **languished** unknown in a box of old papers until it was discovered by a young researcher.
66. One student **lingered behind** after class, so the teacher guessed she wanted to talk about something.
67. Although the **ostensible purpose of the meeting** between the leaders was to discuss trade, most observers believed that the recent border dispute would be the main topic of discussion.
68. The company launched an ad-campaign to **rebut charges in the press** that it was exploiting workers in Third World countries.
69. We were shocked to find that someone had **scrawled graffiti** all over our garage.
70. Many scientists considered the new theory about the origins of mankind **spurious** , arguing that it was based on a misunderstanding of the evidence.
71. Leaving the gala dinner, the film star pushed his way through the **throng of fans** and got into his waiting limousine.
72. However hard he tried to pay attention to the history professor's lecture, Bill often found himself **nodding off** and missing important points.
73. Over dinner, Jim's boss revealed that he was **toying with** the idea of opening a new office in Paris.
74. The economy is showing signs of recovery. Consumer demand is increasing, and the rise in the unemployment rate has finally begun to **taper off** .
75. The rap singer told the media, "You can criticize my music, but don't **go poking around** in my family's private affairs."

2005-1

76. Since the manager had such a **roundabout** way of talking, people often misunderstood the point that he was trying to make.
77. All the dancers at the festival were **flamboyantly** dressed in colorful silk costumes with gold trim.
78. I was so nervous about my first day on the job that I **inadvertently** walked into the wrong office.
79. Police have arrested two people in connection with recent incidents involving **counterfeit** bills being used at local businesses. Investigators believe the two may have printed the bills as well.
80. Gray squirrels are very common in the British Isles, but actually they are not **indigenous**. They were first brought over from America during the reign of Queen Victoria.
81. Many senior citizens are forming political **associations** to promote their interests. "If we seniors work together, we can have great political **clout**," said one man.
82. When the fire alarm went off during the performance, there was **pandemonium**. Everyone in the **audience** panicked and ran for the exits.
83. Wage talks between the union and management have led to a **stalemate**, with little chance of progress unless one side shifts position.
84. The lost climber, who had been missing for nearly a week, was in relatively good spirits

- when she was found, although she looked **emaciated** from a lack of food and water.
85. The rumors concerning the company's financial troubles were so **persistent** that management suspected a rival of **orchestrating** a campaign to damage its credibility.
86. When Pierre asked his boss why she was late for the meeting, she replied **curtly** that it was none of his business.
87. The speaker at the political rally **assailed** the federal government for its failure to deal with the growing problem of illegal immigration.
88. Having just won first prize in the gymnastics competition, the boy **basked** in the approval and admiration of his friends.
89. Billy's mom tried to **cajole** him into eating the spinach on his plate, but nothing she said seemed to work.
90. Although the violinist's performance had been technically **impeccable**, one judge argued that the **rendition** was mechanical and lacked passion.
91. The commission appointed to investigate the political scandal eventually **exonerated** the prime minister of any responsibility in the affair.
92. Although the critic felt a strong **antipathy** to the artist as a person, he could not avoid recognizing her **genius** as a painter.
93. Not only was the woman's new job better paying, it had the added **perk** of free childcare during office hours.
94. After investigating a series of bank robberies in town, the police managed to catch the **culprit** by anticipating his next target.
95. The columnist criticized the new play for its stereotypical characters and **banal** script, and wondered how it had ever reached the production stage.
96. The magazine specialized in printing **lurid** gossip concerning the private lives of **celebrities**.
97. The biographer spent hours in the local library **poring over** old newspapers in the hope of turning up some interesting facts about the politician's background.
98. Mountain View is one of the country's best ski resorts. Every year, thousands of tourists **descend on** the area, pumping millions of dollars into the local economy.
99. A : You've been staring at that physics textbook for hours!
B : I know. I enjoy the course, but I have to read each chapter three or four times before it really **sinks in**"
100. The prison **inmates** respected the chaplain because he had spent time **behind bars** himself and was able to **identify with** their needs and concerns.

2005-2

101. The company seems to have **weathered** the worst of the economic downturn and to be on the way to becoming profitable again.
102. "There has never been a government as **inept** as this," claimed the opposition leader. "High unemployment, high inflation, a failing health-care system. It's a disgrace."
103. "An average score of 80 percent or higher in high-school algebra and physics is a

prerequisite for those who want to pursue a degree in engineering," stated the university admissions officer.

104. As human development **encroaches** ever further into the jungles of the Amazon, many wildlife habitats have become threatened.
105. The state did its best to improve public education but found itself **fettered** by the limits on public expenditure.
106. When the cowboy approached the wild horse, the animal suddenly **bolted** and jumped over the fence.
107. Although the headmaster did not say so openly, his words carried the **implicit** threat that if the boy's grades did not improve, he would be asked to leave the school.
108. Make sure that you **replenish** the items on the shelves as soon as they are sold, so that there is a constant supply for customers.
109. When the company proposed another five percent cut in salary, **disgruntled** employees threatened to walk out.
110. The famous scholar often seemed so cold and **aloof** that many of his students were hesitant to ask questions after his lectures,
111. The girl who had been caught shoplifting only realized the **gravity** of her situation when the shopkeeper called the police.
112. Opposition among environmental groups to continued logging was **galvanized** by the release of a report revealing a sharp decline in the area's wildlife.
113. The nation's defeat in the war led to a period of intense political **upheaval** as various groups competed to replace the discredited leadership.
114. The search party moved slowly across the **treacherous** mountain terrain, which had been made even more dangerous by the recent snowfall.
115. Human rights groups have accused military forces of committing **atrocities** against the civilian population and have called for an independent investigation.
116. At the meeting, some board members expressed strong doubts about the **feasibility** of our proposal, arguing that our estimate of production costs was unrealistically low.
117. The town looked so **serene** in the early morning light that it was hard to believe that only a few hours earlier it had been in the grip of a raging typhoon.
118. The spokesperson for the international charity criticized the governments of wealthy countries for remaining **oblivious** to the needs of the poor.
119. Plant these seeds and keep them indoors during the winter; then, a few weeks after they **sprout** in the spring, replant them in flowerbeds outside.
120. All my efforts to sleep on the flight were **futile**. The seat was uncomfortable, and the baby in the seat behind me was constantly crying.
121. While being questioned, the witness maintained a calm and pleasant **demeanor**, making his testimony more believable to the jury.
122. The company's new technical consultant had an amazing gift for **zeroing in on** the causes of problems in the computer network.
123. After the fire in the hotel, investigators **sealed off** the building until they had

completed their search for clues.

124. A : Mr. Rogers, I'd appreciate it if you'd let me finish what I want to say, instead of constantly **butting in** like that. B : I apologize, Ms. McDermott. Please go on.

125. "Stop shouting! Take a few minutes to **simmer down**, and then we'll discuss things calmly, like adults."

2005-3

126. Thanks to **burgeoning** demand for its molded plastic products, PlakCell is looking to build three more production plants in Southeast Asia in the next five years.

127. As the manager's workload increased, he was forced to **delegate** more and more responsibilities to his staff.

128. Even though the movie was over three hours long, the amazing special effects kept the audience totally **mesmerized** until the spectacular climax.

129. The escaped convict managed to **elude** the authorities by changing his appearance and using a false passport.

130. "If approved, the proposed tax changes will clearly be **detrimental** to small companies," said one local businessman. "In fact, I predict that many of us will go out of business."

131. A complete **cessation** of hostilities has been agreed to by both sides in the war. Negotiations for a permanent peace settlement are to begin immediately.

132. The teacher **berated** the student angrily in front of the whole class for his bad manners.

133. When you bring a pet back from overseas, it is usually put in **quarantine** for a certain period to make sure that it is free of disease.

134. As soon as the pop star stepped out of her limousine, she was **besieged** by reporters asking her questions about her latest scandal.

135. Meeting for the first time in over 40 years, the two former schoolmates began to **reminisce** about their youth and the adventures they had shared together.

136. The prime minister delivered a moving **eulogy** at the elder statesman's funeral, saying that he had helped millions by devoting his life to fighting racial injustice.

137. Although six people in the company are **vying** for the new managerial position, Steve believes that his proven track record gives him a clear advantage over the others.

138. As part of its new campaign, the health ministry is using a well-known soccer star to help it **disseminate** information about HIV to the general public.

139. Mozart, one of the world's greatest composers, was a child **prodigy** who wrote his first composition at the age of five.

140. The government's delay in appointing a new ambassador to the U.N. is seen as **indicative** of its general attitude toward the world body.

141. Although art critics thought that the new corporate headquarters were **aesthetically** pleasing, employees found the building's design impractical for their day-to-day operations.

142. Women's rights groups are urging people not to buy the author's latest book. They

say he **defaces** women when he suggests that their place is in the home.

143. Before meeting with management, union representatives made a list of **grievances** they wanted addressed before they would agree to end the strike.
144. The graphic scenes of violence in the movie so **repulsed** many viewers that there were even calls for the government to ban it.
145. Despite having had great hopes at the start of the rugby season, the team's players now feel totally **demoralized** after losing their sixth game in a row.
146. The carmaker's fortunes have **fluctuated** greatly in recent years. It went from industry leader to near bankruptcy and is now profitable again.
147. I am happy to recommend this applicant. As his teacher for the past five years, I can **vouch for** his character and trustworthiness.
148. The weekly meeting was a chance for employees to **sound off** about problems and concerns they couldn't mention directly to their company superiors.
149. John loved going to the theater and would quickly **snap up** any tickets he could get his hands on.
150. The TV personality **lashed out** at the media for publishing photographs of his family on vacation. "Why can't you leave them alone?" he demanded.

2006-1

151. "The recent budget cuts to the emergency services have severely **diminished** our ability to respond quickly to calls," a spokesperson claimed yesterday.
152. Although Asako's husband preferred to spend his weekends quietly at home, she was a very **gregarious** person who liked to organize parties and meet new people.
153. "Divorce involves a lot of traumatic changes for children, so it's extremely important not to **alienate** them from either parent," the counselor advised the couple.
154. Facing bankruptcy, the furniture company was forced to **liquidate** its remaining assets to pay off its debts.
155. Rumors that the royal marriage was in trouble were supported by a woman who claimed to have had **clandestine** meetings with the prince. She revealed that they had been seeing each other for months.
156. Although the nature documentary's theme was not especially original, the cinematography was so **exquisite** that the film won acclaim from critics worldwide.
157. The gold medalist paid **homage** to her coach at the news conference, saying that she would never have won the 10,000-meter race without his support.
158. As part of the nation's arms buildup, the navy has announced that it will **procure** two new nuclear-powered aircraft carriers from the nation's biggest defense contractor.
159. With the collapse of his government, the disgraced president sought political **asylum** in a neighboring country.
160. Jill was happy when she solved a crossword puzzle that had **stumped** everyone else in her family.
161. A : How was the wine-tasting party last night? B : It was awful. My husband got so drunk that when he made a speech at the end, he was totally **incoherent**. Even I couldn't

understand what he was trying to say.

162. A : Hi, Gabriel, I heard that you started taking judo classes. B : Yeah, that's right. Of course, I'm still a **novice**, but my instructor says I have the potential to be pretty good.
163. After another exchange of gunfire at the disputed border, peace envoy James Nkomo has called for both sides to show **restraint**. "The solution must come through dialogue, not violence," he said.
164. A : Jim, I've got great tickets for the basketball final, but the company president has invited me to dinner that night. What should I do? B : I sympathize with your **predicament**, but I don't think you should miss the Dinner.
165. FundSmart Inc.'s CEO Roberta Gonzales outlined the **rationale** for the company's merger with rival Investerm. "Together, we can increase efficiency and compete more successfully," she said.
166. A : What did they say about your knee at the clinic, Liz? B : The **prognosis** is better than I expected. The doctor said that I can make a full recovery in a couple of months.
167. Labor leaders argued that the President's fiscal policies only benefited the wealthy and that working families would bear the **brunt** of his budget cuts.
168. The Randolph Inn is known for its **meticulous** attention to detail. Each of the 152 rooms is decorated individually with beautiful antique furnishings and artwork.
169. In **hindsight**, Miho realized that she had been foolish to leave university before completing her degree. At the time, however, she felt that work experience would be more useful to her.
170. In response to ongoing communal violence, the city's police chief has stated that a strict **curfew** will be introduced as of today. Nobody will be allowed out on the streets from 11p.m. to 6 a.m.
171. Last night, a strong storm hit the tiny port of Wellesley and **irreparably** damaged at least seven fishing boats. "My boat was all I had. I have no idea what I'm going to do now," said one owner.
172. At a media conference, the company president at the center of the scandal **fended off** reporters' questions with lengthy and indirect replies.
173. A : Professor Smith, you wanted to see me? B : Yes. Your recent essays have been very disappointing, Leroy. I'm going to **level with** you. If you don't start getting better grades, there's a real chance you'll fail this course.
174. The new conservative government is **cracking down** on illegal workers. Immigration officials have raided factories throughout the country to check on workers' documentation.
175. The team manager was hoping that the veteran player's fantastic work ethic and knowledge of the game would **rub off on** the younger players.
- 2006-2
176. After returning from the war, the soldier was **tormented** by nightmares, so he sought help from a counselor.
177. Mr. Andrews didn't quite finish the marathon, but he sure made a **valiant** effort.

Imagine running more than 35 kilometers at the age of 75!

178. Despite the restaurant's average service and **drab** decor, the food itself was famous throughout the region.
179. A new drug has been released that promises to **alleviate** the pain of migraine headaches.
180. The professor had a strong motive for praising his colleague's findings: the new discoveries **vindicated** his own long-held beliefs.
181. The pharmacist recommended the cherry-flavored medicine, assuring the mother that since it was much more **palatable** than other brands, children actually enjoyed taking it.
182. Some theorists believe that globalization will lead to a **convergence** of values and beliefs as countries come together to form one mass society.
183. The author had become increasingly **reclusive** with age, refusing to grant interviews or make public appearances.
184. Liz's political science class held a **mock** presidential debate yesterday so that students could experience some of the problems that candidates face in real debates.
185. During the dictator's rule, those who criticized his leadership were arrested and thrown into prison with other political **dissidents**.
186. The woman was shocked by her date's **uncouth** behavior at the restaurant, especially when he whistled to get the waiter's attention.
187. The union requested that the new policy on overtime pay be applied **retroactively** from the beginning of the previous year.
188. The forested hillside, ablaze in autumn **foliage**, provided a dramatic backdrop for the wedding ceremony.
189. When millionaire Rob Roberts heard about the **archaic** computers being used in local schools, he donated \$150,000 to help them upgrade their equipment.
190. The thieves **ransacked** the apartment, searching for any valuables. They did not find many, but the mess they left behind took days to clean up.
191. A: Who's been **tampering** with my computer? All the settings have been changed.
B: I think I saw one of the systems people looking at it this morning.
192. Fearing an **exodus** of wealthy citizens to foreign countries, the government decided to delay its plans for a large increase in income taxes.
193. In his speech, the president carefully avoided commenting on any of the **contentious** issues currently dividing the public.
194. Rumors of an **impending** merger with a major rival, together with news of a sharp rise in profits, sent the company's shares soaring on the stock market.
195. The recent **dearth** of applicants for engineering programs at British universities has forced the government to take special measures to attract more students.
196. When our firm's lawyers read the client contract carefully, they found that a number of **provisions** had been added, so they advised us not to sign it.
197. A: Steve, did you manage to sell your house? B: No, the deal **fell through**. The

couple decided they couldn't afford our place after all.

198. The new CEO said the firm's financial problems **boiled down to** the fact that its labor force was too large. Some employees would have to lose their jobs.

199. Todd **ran up** a huge credit-card bill last month when he went on an overseas vacation, bought a new fridge, and paid for some repairs to his car.

200. A : Julie, how are you? Any luck finding steady work? B : Well, I have a part-time job now,, so I'm just **scraping by**. I could really do with some extra cash.

2006-3

201. The tailor was **adroit** at making quick repairs to even the most difficult of garments.

202. Several soldiers were seriously injured when their vehicle hit and **detonated** a landmine.

203. The little boy **hurtled** down the hill on his new bike, narrowly missing a pair of elderly pedestrians crossing the street.

204. The team doctor warned the basketball player that he could **aggravate** his knee injury if he started running too soon. "Wait another two weeks," the doctor said.

205. Even the prime minister's opponents admired the **tenacious** way in which he carried out the education reforms he had promised, despite the increasing unpopularity of the government.

206. The family of the defendant was hugely relieved when the jury returned a **verdict** of not guilty on the charge of manslaughter.

207. The athlete **clenched** his teeth and made one final attempt to lift the barbell.

208. Ashley knew that the disease his mother had was **hereditary**, so he wasn't surprised when the doctor confirmed that he had it, too.

209. If the planned closure of the electronics factory goes ahead, it will only **exacerbate** the local unemployment problem.

210. The soldier **wincing** in pain as the medic **applied** antiseptic to his wounds.

211. The company's profits were quickly **squandered** on luxury business travel and the president's gambling habit.

212. Saddened by the recent loss of her close friend, Marge flipped through her photo albums, seeking **solace** by recalling the times they had shared together.

213. John **detested** public speaking and was **petrified** at the thought of having to give a speech in front of the entire company at the annual conference.

214. The rebellion was quickly **quelled** by forces loyal to the president.

215. During his annual performance evaluation, the man had planned to ask for a pay raise, but in the end he did not have the courage to **broach** the subject.

216. Mr. Kelly was so afraid of confrontation at work that he would **meekly** accept orders from anyone, even his subordinates.

217. The bank teller continued to **feign** ignorance about the missing money even though there was an increasing amount of evidence against her.

218. Many people don't know that skateboarding is a direct **offshoot** of surfing. In fact, when it first appeared, it was called "sidewalk surfing."

219. Arguing that the **plight** of the refugees was worsening because of a lack of aid, U.N. officials reminded countries of their initial promises to provide funds.
220. The main beach was too crowded, so Adam walked along the shore until he came to a **secluded** spot where he could read his book in peace.
221. The famous painter's later pieces were heavily criticized. Many critics said it was amazing that an artist of his **caliber** could produce such **uninspired** work.
222. A: Andre, you need to **patch up** your differences with Edward after that argument at yesterday's meeting. B: Yes, Mr. Smith. I'm sorry. I'll talk to him today.
223. I really admire Zoe. Even though she has to look after her sick mom, she manages both to **hold down** a part-time job and volunteer at the community center.
224. A : I'm going to speak to the boss about John's behavior. He's just so rude. B: I wouldn't **kick up a fuss** if I were you. I heard that John and the boss are good friends.
225. If domestic sales of its new compact eco-car **take off**, the carmaker plans to introduce the vehicle on the international market.

2007-1

226. The school principal explained that the division of the students into different classes was purely **arbitrary** and had nothing to do with their abilities.
227. After a **string** of failures, the aging singer decided to try and **boost** his **waning** popularity by **pairing up with** the latest teenage sensation.
228. In a recent survey of top executives, 67% felt that effective marketing was **vital** to product success, while 13% said it was only **marginally** important.
229. I tried to apologize to Jeff for breaking his car window, but he just **muttered** something under his breath and walked away.
230. Many elderly people are forced to live on such **meager** pensions that they can barely afford the necessities of life, let alone any luxuries.
231. Despite having been in the fiercest part of the fighting, the soldier emerged **unscathed**"
232. The lawyer thought it would be easy to defend his client because most of the accusations against him were based on **conjecture** rather than on hard evidence.
233. "Roger, congratulations on winning the Employee of the Year Award," said the CEO. "You truly **epitomize** the company's values of hard work, honesty, and cooperation."
234. Although officials deny it, rumors are **rife** that the elderly king is suffering from a life-threatening illness.
235. Supporters often **extol** the **virtues** of offshore outsourcing, but they fail to mention some of the problems it can cause, like unemployment at home.
236. The ice skater had little time to **savor** her victory at the national tournament. Within days, she was already training for the next competition.
237. No matter how much companies spend on network security, there is always a chance that a hacker will find a way to **circumvent** it and enter the system.
238. The area around the old docks, once known as a **haven** for criminals, has been redeveloped into an **upscale** entertainment area to attract tourists.

239. Before the journalist was allowed to meet the rebel leader at his base in the mountains, armed guards **frisked** her to make sure she was not carrying any hidden weapons.
240. Violent snowstorms played **havoc** with the mountaineers' schedule. They finally reached the summit two days later than originally planned.
241. Conscious of the fact their host had recently been fired, the dinner guests were careful not to **allude** to work in any way.
242. The teenager told police that he had not wanted to steal candy from the store but had been **coerced** into doing it by some older boys from his school.
243. The new production of Shakespeare's Macbeth was **lambasted** by critics and, as a result, very few people went to see it.
244. When we arrived at the hotel, we were shocked by the **disparity** between the beautiful photographs on its website and the hotel's poor condition.
245. Police have released **footage** of the bank robbery taken by a security camera, hoping that a member of the public will recognize the criminals.
246. William's career as a currency trader had been very **lucrative**. After only 10 years, he was able to retire and concentrate on his hobby of collecting art.
247. A : I've decided to vote against the merger at today's meeting. B : Really? I was **banking on** your support. Is there anything I can say to change your mind?
248. It took Andy so long to **muster** the courage to ask Susan for a date that she'd begun thinking that he wasn't interested in her.
249. I've noticed a lot of spelling mistakes have been **cropping up** in our reports recently. Please be more careful from now on.
250. The student tried to **pass off** the research as his own, but it was obvious that he had copied it from

2007-2

251. To the delight of conservationists, the council recently passed a new **ordinance** strictly regulating construction projects in the city's historic district.
252. In his resignation letter, John wrote that he loved teaching but could no longer handle the **incessant** demands from the children's parents.
253. A : Jessie, don't you think it's wrong to steal office supplies from your employer?
B : No, I have absolutely no **scruples** about it because they pay me next to nothing!
254. Losing all her possessions in the house fire was a very **harrowing** experience for Antonia, so her boss gave her some time off to **sort** things out.
255. It took Ken a few weeks to **muster** the courage to tell his parents that he had failed two of his final university exams.
256. The media **slammed** the pop star after he said it was OK to take illegal drugs. Some newspapers recommended that people boycott his music.
257. I think Ms. Hayashi is a great teacher. She has a **knack** for explaining difficult Japanese grammar in a way that everyone can understand.
258. The company CEO **declined** to comment on the merger negotiations. "Any

statement at this **juncture** might negatively affect the outcome," he said.

259. "The major **impediment** to achieving peace is the government's total refusal to talk to the rebels," said the TV correspondent.
260. The foreign minister resigned after he was publicly **rebuked** by the prime minister for his involvement in a national scandal.
261. While the scientist's new theory about the causes of global warming has not won universal acceptance yet, it has gained many **adherents** in the scientific community.
262. The young girl was so **engrossed** in her book that she didn't even notice her mother had entered the room.
263. Cindy was overjoyed when the doctors informed her that the stomach tumor they had tested was **benign**.
264. Although the woman usually **opted** for the cheapest flight available, she decided to buy a business-class ticket for her birthday.
265. Customs officials **confiscated** the rare plants that the man tried to take into the country. They explained that such products could not be imported without a permit.
266. The smooth-talking criminal **swindled** many elderly people out of their savings by falsely promising to invest their money for them.
267. Having been brought up in a quiet village, Hideki could not get used to the **frenetic** pace of life in Tokyo when he moved there.
268. Ten years after the northern tribe's defeat in the civil war, many of its people still feel considerable **animosity** toward their former enemy in the south.
269. The radio station was **inundated** with complaints after it announced the cancellation of a popular weekly news program.
270. A : Jason doesn't seem to be enjoying school lately. B : I know. I think he's been completely **ostracized** by some of his classmates since he told the teacher about them cheating on a test.
271. An expert in **disguise** and fluent in several languages, the secret agent has taken part in many **covert** operations worldwide without once being detected.
272. My refrigerator suddenly stopped working last night. The last thing I need right now is to **shell out** hundreds of dollars on a new one.
273. If we're planning to **tap into** the Chinese market, we should look for a suitable partner there. We'll need their knowledge about the business culture.
274. There are only two weeks until my university finals, so I've decided to **buckle down** and study at least four hours every day.
275. A : Did you see those police cars at the end of the block last night? B : Yeah. I think they caught a car thief. They **hailed off** the suspect to the local police station.
- 2007-3**
276. "Let me make this very clear," warned the foreign minister. "Any attacks on our territory will lead to serious **repercussions**."
277. The painting has always been **attributed** to Rembrandt, although there is no conclusive evidence that he actually painted it.

278. When starting your own business, you should always draw up a **contingency** plan in case things don't work out as well as you'd hoped.
279. As part of its efforts to **garner** public support for its tree-planting campaign, the environmental group is producing a series of TV commercials.
280. The cheap tent was made of such **flimsy** material that it was quickly torn apart by the strong wind.
281. We knew that our basketball team had little chance of beating the champions, but the result was even worse than we'd expected. In fact, it was a complete **rout**
282. Cheryl's job as editor-in-chief at a fashion magazine requires that she be **adept** at turning an average article into an excellent one.
283. Local store owners fear that the new shopping mall on the edge of town will lead to the **demise** of their businesses. "We won't be able to compete," said George Hammond, a grocer.
284. A: What would be the possible **ramifications** if we failed to meet the deadline specified in the contract? B.: Well, there's always the chance that the clients would sue us for damages.
285. The scientists knew, the journey into the uncharted rain forest would be **fraught** with danger but hoped it would lead to many important discoveries.
286. News magazine has full-time editing position available. Pay **commensurate** with experience. Full benefits, potential for promotion. Send resume to job @ step.news.
287. Scientists hope that a recent discovery of dinosaur bones in South America will help them **unravel** the mystery of why the dinosaurs disappeared.
288. After a workers' strike forced the company to halt operations, the management agreed to make some **concessions** and will increase worker benefits.
289. While there were a few reports of ruling party supporters trying to **subvert** the election process, the elections were declared free and fair by international observers.
290. After years of **evading** taxes, the famous author was forced to sell his house in order to pay a substantial fine and return the money that he owed.
291. Major cities around the world used to look different from one another, but modern skyscrapers have become so **ubiquitous** that many cities now look alike.
292. Protests and lawsuits by environmental groups **confounded** the chemical company's efforts to build a factory near the river. The company is now searching for another location.
293. A: This article says the government needs to increase taxes to boost the health system. Do you think that would help? B: Yes, but taxpayers already complain about how much they pay. Getting them to support increased taxes would be quite a **feat**.
294. For years, human rights activists have **implored** the government to change its laws on the rights of political prisoners, but their demands have had no impact.
295. Although staff were unhappy about the company reducing salaries, most were more concerned the cuts were a **prelude** to them losing their jobs altogether.
296. When the company dismissed Paul, it said that he had **embellished** the details of his

resume by including qualifications and work, experience that he didn't have.

297. Kevin thought he had saved enough money to buy a car, but after **factoring in** other costs, such as insurance and tax, he realized he would have to wait until next summer.

298. A: So, did you tell the coach that you want to quit the swim team? B: Yeah, he was furious. I got **bawled out** for my lack of commitment to the team for over 10 minutes!

299. A: You're taking a business course at night school, aren't you, Pamela? Is it expensive? B: Well, the tuition is reasonable, but I've had to **fork out** over \$300 for books already.

300. A: I can't believe our son was arrested for stealing a motorbike. B: I think he was **egged on** by those new friends of his. They're a really bad influence on him.

第5章 英作文の書き方

■ 最大の難関

実は、英検1級の試験で最大の難関が英作文であり、ここの出来、不出来が合否を左右します。配点も28/113点で、25%を占めます。

多くの生徒の成績通知を見てきましたが、英作文の不出来が不合格につながっているケースが多いのです。実は、ここだけが、採点者の主観が入り、点数の基準がよくわからない箇所です。採点基準は当然あると思うのですが、私の経験では、充分書けなかったと悔やんでいるのに高得点だったり、自信作なのに期待値を大きく下回ったりして、よくわからない部分です。

学校に来る人が一番勉強したがっているのも、実はここです。私は、生徒からメールの本文、もしくは添付ファイルの形で作品を送ってもらい、丁寧な添削（文章構成、スタイル、論旨、英語表現）をして、即日返送しています。指導していて生徒の反応が一番大きいのがこの英作文です。

そういえば、私もそうでした。2000年に通訳ガイド試験を受けたときに専門学校に行ったのですが、主たる目的は英作文の強化でした。

■ 指示文をよく読み、従うこと

英作文問題は、書き方について明確に指示してあるので、その内容に沿って書かなければなりません。英作文の採点基準は明らかにされていないのですが、常識的には、指示に従わない作文は、内容がどんなに立派であっても減点になると考えるべきでしょう

<指示事項1>—POINTS—論旨の展開

Write an essay on the given TOPIC covering three of the POINTS below.

POINTS が6個用意されているので、その中から3個選び、論旨を展開することが必要です。3個以上使っても大丈夫かとの質問をよく受けるのですが、基本的に問題ないとしています。下記に述べるように、First Second Thirdのパラグラフに1個ずつ使い、In conclusionのパラグラフにもう1個使うなどの方法もあります。

このPOINTSは、考えようによっては、受験生にとって親切です。こんな論旨で書けとっているようなものです。もしPOINTSが無かったとしたら、自分で全部考えなければならないので大変です。英検は、POINTSを6個提供することで、受験生が書きそうな論旨を先回りして用意してくれていると言ってもいいでしょう。

<指示事項2>—Space—書く分量①

Use the space provided on your answer sheet

<指示事項3>—Length—書く分量②

Around 200 words

<指示事項 2>と<指示事項 3>は重なるので、まとめて書きます。試験会場で配られる解答用紙には罫線が引かれています。手書きで読みやすい文章を書くには、せいぜい一行に 10 ワードくらいですが、書くスペースが 21 行あるので、これに従えば、自然と、around 200 ワード書くこととなります。

沢山書けば、その努力が認められて高い点数がもらえるわけではありません。そう勘違いして、解答用紙の裏側も使って書く人が居ますが、二つの点で大きなリスクを抱えることとなります。

リスク① 指示事項違反で減点されるリスク。

指示文に従わない解答は基本的に無効です。例えば、ブロック体で書けと指示してあるのに筆記体で書いたら零点をもらっても文句を言えません。それと同じです。厳しい採点者なら、どんなにできが良くても大きく減点するでしょう。私が採点者でもそうするでしょう。

350 ワード近く書いて、ほぼ満点をもらった人が居ると聞きました。これは、例外と考えるべきでしょう。わざわざ指示事項を出しておきながら、それに反する行為をとった受験者に高得点を与えるやり方は納得できません。世間に、英検の採点は甘いという、間違った情報が流布されることを懸念します。

リスク②：時間不足で読解問題ができなくなる。

もうひとつのリスクは、時間です。そんなに書いたら、最低でも 45 分以上かかるので、時間不足となって読解も壊滅状態という惨めな結果に陥ります。結局合格できないということです。

つまり、around 200 ワードを守るべきです。試験時間もその英作文の分量で設定されていると考えるべきです。

200 ワードに足らなくてもいいのかという質問を受けることがあります。Around 200 ワードですから、常識的には 190-210 ワードくらいが理想でしょう。150 ワードではどうでしょうか？ これは、減点されると考えるべきでしょう。他の問題に足をとられて書く時間が足らなかったか、書く力が充分無かったから書けなかったと見られても仕方ありません。それに、何よりも、150 ワードでは、指示事項に沿った論理的な文章を書くことは困難です。

因みに。このワード数は、単語の数であり、コンマやピリオドは含みません。

<指示事項 3> - Structure - 文章構成、スタイル

Three or more paragraphs, including an introduction and conclusion

イントロ→First→Second→Third→In conclusion(=Finally, Lastly)の形で書くのが鉄則です。この形で書かれた作文は圧倒的に読みやすいですし、英検が出している模範例文も基本的にそうなっています。

最近の TOPIC から：

2007-3

TOPIC Do the world's wilderness areas need to be better protected?

POINTS Biodiversity, Ecotourism, Rights of indigenous peoples, Population growth

Economic development, International cooperation

2007-2

TOPIC Should more be done to eliminate world hunger?

POINTS Climate change, Genetically modified food, Fair trade, International aid, Transfer of technology, War

2007-1

TOPIC Has modern society become too dependent on technology?

POINTS Interpersonal communication, Traditional skills and crafts, Leisure activities, Health and medicine, Workplace efficiency, Environmental issues

上記は、いずれも、受験生の考え方を聞く質問です。ですから、あなたの作文は下記のように書くべきです。

私は、本件 (TOPIC) について、下記 3 つの理由で賛成です (そう思います)。

賛成理由 1 (TOPIC から 1 個)、賛成理由 2 (TOPIC から 1 個)、賛成理由 3 (TOPIC から 1 個)、In conclusion の構成で書いていきます、

もしくは

私は、本件 (TOPIC) について、下記 3 つの理由で反対です (そうは思いません)

反対理由 1 (TOPIC から 1 個)、反対理由 2 (TOPIC から 1 個)、反対理由 3 (TOPIC から 1 個)、In conclusion の構成で書いていきます、

この他に、賛成とか反対では書きにくいときは、下記の方法もあります

私は、本件 (TOPIC) について、下記 3 つのような意見をもっています (賛否は答えない)

意見 1 (TOPIC から 1 個)、意見 2 (TOPIC から 1 個)、意見 3 (TOPIC から 1 個)、In conclusion の構成で書いていきます

ここで気をつけることがあります。賛成理由、反対理由、意見の 1 個について POINT を 1 個対応させるということです。

また、イントロで言っていることと、次の論旨に出てくることが論理的につながっている必要があります。つまり、イントロで、「次の 3 つの理由で反対です」と言っているのに、次に来る論旨 1 や論旨 2 がその理由として適当ではないというケースが多々見られます。

文字数の配分は、イントロ : 30、論旨 1 : 50、論旨 2 : 50、論旨 3 : 50、結論 : 20~30 くらいが目安です。論旨 = 賛成理由、反対理由、意見

いずれにしても、自分で考えて書き、添削を受けてブラッシュアップするという地道な作業を積み重ねていくしか方法がありません。

英検が出している模範例文は立派過ぎて、30 分の制限字時間内であんなもの書けるものではありません。生徒の作品の中で、相対的によくできたものを紹介しますので参考にしてください。細部にこだわれば、修正すべき箇所はまだありますが、このレベルで書けば充分だと私は判断しています。採点者の主観にもよりますが、20-24 点 (28 点満点) はもらえると思います。

- Write an essay using 3 points from the following 6 POINTS
- TOPICS: Has modern society become too dependent on technology?
- Around 200 words

POINTS:

- Interpersonal communication ● Health and medicine
- Traditional skills and crafts ● Leisure activities
- Workplace efficiency ● Environmental issues

TOPIC: Has modern society become too dependent on technology?

I agree that our world is surrounded by technology. And this situation seems to make us less human. I'd like to discuss the bad influence of technology as follows.

First, more and more people use mobile phones. Among younger people, they tend to communicate by exchanging text mails instead of talking directly or through phone. As a result, interpersonal communication has dwindled.

Secondly, a lot of children enjoy video games and the internet today. We can not see many children playing outside. Such leisure activities have been changed by the development of technology. In fact, today it is controversial that more and more children's lives have become unhealthy.

Thirdly, the development of technology makes traditional skills and crafts expensive because of mass produced the state of the art. In the end, handicrafts have become scarce. For example, there aren't so many umbrellas made by hand nowadays. Instead, people buy cheaper factory produced ones. At last, they are easily broken and thrown away.

Those points are negative concerning technology world. I think it is necessary our world pursues more convenient life with technology. I believe however, human life should be hearty with relationship between people in the first place. Today, it is pitiful that technology induces the lack of human relationship.

- ・ 211ワードで、分量は理想的です。パラグラフごとの配分も理想的です
- ・ イントロ、First Second Third Conclusion の構成で論理立てて書いてあり、とても読みやすく、わかりやすいです
- ・ First Second Third の中に1個ずつ指定のPOINTが使われており、指示事項に沿っています
- ・ 簡単な表現を使って、気張ることなく、無理のない、読みやすい文章です。格調高いといった文章ではありませんが、問題文の指示事項に忠実に沿っています

第6章 リスニングの勉強方法

次のような質問をよく受けます。私の答えはいつも決まっています

Q. どうやったら聞けるようになりますか？

A. ディクテーションをやって、自分が何が聞けて、何が聞こえていないかをまず見極めてください。毎週1回、3分くらいの放送で構いません。これを1年続けてみてください。必ず上達します。

Q. 沢山聞くのがいいのでしょうか？

A. 沢山聞けば上手になるものではありません。BGMみたいにしていなくても上達しません。読解で精読があるように、リスニングも精聴があります。まずこれをやって、自分が聞こえていることとそうでないことを峻別することから始めてください。

私は、2001年から2年半、同時通訳養成学校が開いているクラスに在籍したことがあります。そのクラスは、「リーディングとリスニングの相乗効果で飛躍的な英語力向上を目指す」といううたい文句でしたが、看板に誇張はなく、私は、自分の成長を大きく実感することができました。

週1回のクラスでしたが、メニューは、BBCやCNNのビデオを見て逐次通訳すること、宿題として出されたニュースウィークの記事数ページを精読し、わからない箇所を先生に質問するというものでした。宿題でBBCやCNNの放送が3分くらい入ったテープを渡され、それを自宅でディクテーションして一語、一語書き出し、英語の文章にした上で、日本語訳をつけて持参し、翌週の授業で内容を確認するというものでした。何度聞いても聞き取れなかった箇所と、聞き間違っていた箇所を赤のフォントで示すのですが、最初の頃はページが真っ赤でした。回を追うごとに赤の部分が少なくなり、それが楽しくて学習を続けたことをよく覚えています。

たくさんの発見がありました。実は、自分は何も聴けて居なかったという事実です。The が聞こえないし、文章にするときも落としてしまうのです。このことから、日頃から the を意識して英語とかかわってこなかったこと気がつき、それ以降は、英文を読むときにもしっかりと the を意識するようになりました。

But と that が区別できない、過去形で言ったのか、現在完了で言ったのか、過去完了で言ったのかかわらず、どれも同じように聞こえる、前置詞の through, for, at などがほとんど聞こえない、I' ve, They' ve などが聞こえない-----こうしたことのオンパレードでした。

特にショックだったのは、if が聞こえていないとわかったときです。先頭にあるときはまだ聞こえるのですが、文章の合間で、短くパツと言われると、よほど気をつけていても私の耳には聞こえていないことに気がつき、愕然としました。話の流れからすると、そこに if が無いと意味が通じなくなるのですが、私の耳には聞こえてきません。今でも if はそうなのです。途中で何か入っているのだが聞こえない、でも、前後関係からすると if が入っているはずだ。そう思って聞くと確かに if が入っている---そんなことの繰り返しです。私だけかと思って、クラスの皆なに聞かせると私と同じ状況であり、これは、日本人に共通する課題なのだということがわかりました。ですから、私は、リスニングの授業では、これらの点を徹底して理解させるようにして

います。

もうひとつ大事なものは、単数形と複数形の峻別です。日本語は単数と複数があいまいですが、英語は、話し言葉の中でも明確にしています。複数形のSを落とすのです。

文章からすれば当然sがなければいけないことはわかるのに、耳で聞くと、複数形のsが聞こえないので、ディクテーションでもSを落としてしまうのです。

また、これは、当たり前のお話なのですが、読んで知らない表現は聞いてもわからないという単純な事実です。今でも覚えています、ある日のディクテーションの宿題で、ベアーブランチ というように発音している文章の塊がどうしても聞こえませんでした。スクリプトを見て、bear the brunt という表現を勉強したのですが、その後、ニュースウイークの記事の中にその熟語があり、再確認しました。それ以降、bear the brunt とという表現を耳にすると一発で聞けるようになりました。因みに、この熟語は、台風の災害で言うと、直撃をまともに食らってたいへんな被害をこうむるといったときに使う表現です。

このことは、リーディングとリスニングの学習は相乗効果があることを示しています。そのことを体感して以来、私の英語学習の目の付け所が大きく変化しました。

■ 英検 1 級リスニングパート 1、会話文の攻略

登場人物や設定は微妙に異なりますが、パターンは似たり寄ったりです。登場人物は 52 人か 3 人、たまに 4 人のこともあります。会社を辞める、転勤する、家売る、旅行に行く、車を買う、車や電化製品を修理に出す、夫婦や親子が何事か議論や相談をしている場面が多く見られます。設問は、ある状況下で、結局彼はどうするのかといったふうに、ストーリー展開が理解できているかを聞いています。

登場人物が 3 人で議論している場面設定で、最後に少しでも発言した男の人は結局どうするのかというような設問をしていることもあります。聞いている受験生は、初めから一番多く発言している人物に注意が行くのですが、その人の発言ではなく、最後に少しでも出てきた人のことが聞かれるような、ちょっと意地悪な質問も出されるので、最後まで気が抜けません。

攻略方法は、3 回分くらいの実際の放送内容を隅から隅まで聞いて、理解することです。一語一語書き取るくらいのもりで正確に聞きとってください。自分が受験した(する)問題を隅々まで研究するのは当たり前のことです。

下記は、2007-2 に放送された内容の一つを書き出したものです。設問が 1 個ありますが、その手がかりになる箇所をアンダーラインで示しています。また、質問①、回答①などの注を付け、やりとりの塊で括ってわかりやすく示してあります。どのような放送内容か、設問の仕方、正解の見つけ方を知る上で参考になりますので、一読ください。

NO. 10

That concludes my presentation on alternative fuels. Any questions? Yes, the man in the second row.

質問① You said that some people are using vegetable oil instead of gasoline to run their car engines. Could you explain this a little more?

回答① Sure. I wasn't talking about all cars-only those with diesel engines. The diesel engine ran on peanut oil when it was introduced in 1900 and then it was changed to run on petroleum.

質問② But now it does run on petroleum. Are you saying that I can drive my diesel car to the local fast food place, order some fries, and fill my gas tank at the same time?

回答② It isn't quite that simple. The oil needs to be filtered and the engine needs a converter.

質問③ It seems like a lot of work and expense.

回答③Actually, conversion kits are relatively inexpensive, and used vegetable oil is often free. Thanks for your question...Yes, the gentleman at the front, please.

質問④I was wondering, if petroleum and vegetable oil both release carbon dioxide into the atmosphere, why is vegetable oil better?

回答④ 設問の手がかりはここにあります When plant oils are burned, they release the same amount of carbon dioxide they absorbed when growing. That means they are "carbon neutral." Burning petroleum actually releases additional carbon dioxide into the atmosphere. 石油を燃やすと炭酸ガスを新たに発生するが、植物オイルは、成長するときに吸収した炭酸ガスを排出するだけなので、燃焼によって新たに炭酸ガスを出すわけではないという論旨です。

That helps clear things up. Thanks.

Question: What do we learn about using vegetable oil as an alternative fuel?

- 1 It does not produce excess carbon dioxide. **これが正解です**
- 2 Any car can be converted to run on it. 下線部が間違いです
- 3 Using it in engines is still expensive. 下線部が間違いです
- 4 It does not need to be filtered before use. 下線部が間違いです

気をつけるべきは、選択肢と放送内容は表現が異なることです。つまり、放送内容を理解できていないと正解を見つけることができません。当たり前聞こえるかもしれませんが、放送内容を正確に聞き取って、ストーリーの流れを理解することが大事です。

■ 英検 1 級リスニングパート 2、短いパッセージの攻略

様々なジャンルから出題されています。聞くコツは二つです。①タイトルを聞き逃さないようにしましょう。タイトルを理解するとあとの論旨が理解しやすくなります。②登場人物、事件など、いわゆる 5W1H で、ストーリー展開を理解するようにしましょう。

下記は、2007-2 に放送された内容の一つを書き出したものです。設問が 2 個ありますが、その手がかりになる箇所をアンダーラインで示しています。どのような放送内容か、設問の仕方、正解の見つけ方を知る上で参考になりますので、一読ください。

(E) A Man-made Island

Singapore is a tropical island-state of only 700 square kilometers, but it has a population of more than 4 million. This high population density has led to a crisis in waste management, forcing the government to find ways to deal with the 7,700 tons of trash produced daily.

No.19 の質問の手がかりはここにある One of the most creative and efficient solutions has been Semakau, a man-made island consisting almost entirely of trash. About 90 percent of Singapore's waste is burned, and the ashes and other waste are dumped into large pits on Semakau. First, though, the seawater is pumped out of these pits, which are then lined with plastic to prevent leaks. Once a pit is filled, it is covered with dirt and seeded with grass.

→Semakau.が人工的に作られたゴミ処理場だということがわかります

Initially, there were concerns about the environmental effects of the land fill island, No.20 の質問の手がかりはここにある but a rich variety of plant and animal life has been thriving there, including some rare species. There are now even nature tours to give Singaporeans a break from city life.

→Semakau.が、当初心配された環境問題を起こすどころか、植物や動物の繁殖地になっていることがわかります

Semakau can hold 63 million cubic meters of rubbish, which should be enough to meet Singapore's waste disposal needs until 2040. After that, the island-state will think of new ways to dispose of its trash.

Questions

No. 19 Why did the government build the island of Semakau?

No. 20 What has been one result of the creation of Semakau?

(E): No.19 1 For an waste-burning facility.

2 To provide a place to dump waste.

3 For a water and plant research laboratory.

4 To increase the land area of the country.

- No. 20 1 Pollution of the water supply.
 2 More people are moving there.
 3 Destruction of the ecosystem.
 4 It supports a lot of wildlife.

大きく括ると、パラグラフが4つあります。設問は、そのうち2個について聞いています。ですから、パラグラフごとに放送内容を理解していくことが大事です。余裕があれば、設問を先読みして、問題意識を持って聞くのが一番いいのですが、実際の場面では困難です。

先読みできないときは、放送をパラグラフごとにしっかり聴いて理解し、設問に答えるようにしましょう。但し、設問に出てくる固有名詞が聞き取りに役立つことがあるので、ざっと眺めておくことは意味があります。

Semakau がその例です。放送の中で突然この単語が出てきても聞き取れないので不安になり、全体の聞き取りに影響することがあります。ですから、事前に設問を眺めておいてこの単語を認識していれば聞きやすくなります。

■ 英検 1 級リスニングパート 3、situation の攻略

Situation に記載されていることが、聴くポイントのヒントになりますので、日時、場所、行動目的など、キーワードにアンダーラインを引いておきましょう。

設問に書いてある選択肢の順番で放送されるので、1 番は X, 2 番は X, 3 番は?, 4 番も X だから、3 番が正解というように頭から順番に消去法で正解を見つける方法が有効です。

放送には固有名詞が沢山出てきますが、聞いているときはよく聞き取れません。上記のように、放送内容に沿って選択肢をひとつずつ消去法で見っていくと、選択肢には固有名詞が書いてあるので理解しやすくなります。

下記は、2007-2 に放送された内容の一つを書き出したものです。設問が 1 個ありますが、その手がかりになる箇所をアンダーラインで示しています。どのような放送内容か、設問の仕方、正解の見つけ方を知る上で参考になりますので、一読ください。

I. You have 10 seconds to read the situation and Question No. 24.

(I) No.24 : You want to donate your teenagers' old clothes to a charity. You call the contact number and hear the following message.:

Who should you take the clothes to?

1 Mary Potter.

2 Susan Sparks.

3 Mabel Jones.

4 David Jones.

Hello. Mary Potter here. I'm collecting clothing for Saturday's charity sale. Thank you for donating. Last month we received so many clothes that *Susan Sparks*, our collector, was overwhelmed. So for this month's sale we've decided to divide clothing into various categories.

Mabel Jones will be collecting shoes of all sizes. If you phone her at 987-3212 and give her your address, she'll come over to collect them on Wednesday evening.

→Mabel Jones さんは靴を集める担当ということなので、ここを聞いたら、設問の選択肢 3 番に X をつけましょう

Susan Sparks will be dealing with baby and toddler clothes. Phone her at 986-4123 for collection procedures.

→Susan Sparks さんは幼児用の衣類を集める担当ということなので、ここを聞いたら、設問の選択肢 2 番に X をつけましょう

No.24 の質問の手がかりはここにある **Clothes for teens will be my responsibility. I'll be at the**

community center on Thursday evening to collect them.

→Clothes for teens は、放送している Mary Potter さんの担当ということですから、この人、つまり選択肢 1 番が正解です。ここを聞いたら、設問の選択肢 1 番に○をつけましょう

David Jones is collecting men's clothes; he will be at the community center on Saturday morning after 10:30.

→David Jones さんは成人男性用の衣類を集める担当ということなので、ここを聞いたら、設問の選択肢 4 番に X をつけましょう。

Women's clothes can also be given to me, *Mary Potter*, at the community center on weekends between 6 and 8 p.m.

→女性用の衣類は（も）Mary Potter さんが担当ですが、設問とは無関係です

Now mark your answer on your answer sheet.

この問題の特徴は、**Mary Potter、Susan Sparks、Mabel Jones、David Jones** という名前の 4 人が登場し、それぞれが持っている役割を伝える設定になっており、ややこしいことです。ですから、**誰が、何を、どうする**ということを確認に聞き分ける必要があります。

Mabel Jones、David Jones という紛らわしい名前を入れてあるのは、受験者を混乱させる作戦と思われまます。

今回の状況設定は、**teenagers' old clothes** を寄付するには誰に持っていたらいいかということですから、**teenagers' old clothes** を担当するのは誰かということに注意して聴く必要があります。

また、放送しているのは **Mary Potter** さんであり、**Clothes for teens will be my responsibility** と言っていることに気がつく必要があります。

次の順番で名前と担当が放送されています。**Mabel Jones**（靴を集める担当）→ **Susan Sparks**（幼児用の衣類を集める担当）→ **私=Mary Potter**（teens の衣料を集める担当）→ **David Jones**（成人男性用の衣類を集める担当）→ **私=Mary Potter**（女性用の衣料を集める担当）これをきちんと聞き分けることが大事です。選択肢で見ると、3 番 X、2 番 X、1 番○、4 番 X です。

Mary Potter さんが女性用の衣類は（も）担当しているという内容が最後に出てきますが、これは、受験者を混乱させる作戦と思われまます。設問とは無関係です。

■ 英検 1 級リスニングパート 4、インタビューの攻略

ここもパターンは決まっています。日本在住の外国人を招いてインタビューする形式です。ジャーナリスト、鍼灸師、学校の先生、ピアノの名手、作家、バンドのリーダーなどが登場します。

質問は、なぜ日本で仕事しているのか、日本で仕事する上で困難な点は何か、日本と外国のお客さんの違いは何か、今後どうしたいかなどを質問して、それに答える形式です。

今、これを質問した、こう答えた、こうも答えた。次の質問が出た、こう答えた。3つ目の質問がでた、二つの点で答えた-----こんなふうのリズムをとりながらストーリー展開をつかむように聞くのがコツです。

設問はどこの箇所から出るかわかりませんので、初めから最後まで気が抜けません。

下記は、2007-2 に放送された内容を書き出したものです。設問が2個ありますが、その手がかりになる箇所をアンダーラインで示しています。どのような放送内容か、設問の仕方、正解の見つけ方を知る上で参考になりますので、一読ください。

Interviewer (I): Welcome to our weekly feature on foreigners working in Japan. Today we have with us Greg Mettam, who is an editor for an English daily online newspaper here in Japan. Welcome, Greg. Nice to meet you, Greg Mettam (GM): Hi, thanks very much.

I: Thank you for being here with us. I imagine there are lots of things that keep you busy at your job, but what is the most exciting thing, would you say, about being an editor?

GM: Probably for us it would be not knowing what's going to happen each morning you walk into the office.

I: Mm hmm.

GM: Some days are very slow news-wise, other days are very frantic, and from day to day you don't really know what sort of work you're going to be dealing with.

I: Mm hmm. How would you say the Internet has changed the media?

GM: Well, it's certainly made it a lot, lot faster, a lot more instantaneous. Nowadays when an event happens, it's pretty much reported up there within ten minutes.

I: Wow.

GM: Somewhere, worldwide, someone will have a story on it.

I: Mm hmm.

GM: The other benefit there is that you can update the story at any time, unlike with a printed newspaper, where once it's gone to print, that's it.

I: Right.

GM: So, often we'll just go up with a basic story, maybe 200 words, just a nuts-and-bolts story covering the event. And then we'll add quotes and reaction and some analysis into that to, and just expand it.

I: Yeah. And what about disadvantages? Are there problems with having a, a newspaper online?

GM: Well, it's, some people still like the feel of an old-style newspaper, especially Sunday morning over breakfast, or...

I: Right.

GM: While they're on their train to work. The other, probably, disadvantage is, very dramatic photo specials, where you open the center of a newspaper, and you have maybe a collection of eight or ten photos spread over two pages...

I: Right.

GM: That has quite a lot of impact on readers. Although we have photo specials our selves where we have a, sometimes we'll have up to 100 or 200 photos on site, the, **No. 26 の設問の手がかりはここにある because of the thumbnails, they don't have, quite have the same initial impression...**

I: Uh huh...

GM: **As when you open a page and you have, say, a big three- or four-column photo in color staring at you.**

I: How are stories reported differently in Japan and in Western countries?

GM: **No. 27 の設問の手がかりはここにある Well, the main difference I think in Japan is the presence of kisha clubs as they're called here, or reporter clubs, where reporters become a member of that club and, and that gets them access to all their news stories, press conferences. And that way, most news organizations get access to the same news sources, whereas in the West you have to rely on your own contacts to, to fish out a story.**

I: Mm hmm. Do you think the media sensationalizes the news?

GM: There's certainly, there's a sensational aspect, and I think that comes from your tabloids around the world, and every place in the world has those, and they attract a certain readership. There's also other forms of media which portray a more balanced coverage, and those forms of media have their readers, while as the tabloids certainly attract their, their readers. I think nowadays, with, specially with online newspapers, you can pretty much focus on media organizations that are going to portray the world through the angle you want to see it.

I: Well, thank you very much.

GM: OK.

I: It's been a pleasure talking with you.

GM: Thanks very much.

Questions

No. 26 What does Greg say is one of the problems with online newspapers?

No. 27 How does Greg explain the difference between the way stories are reported in Japan and the West?

この本の中では、問題と放送内容を文字で示しましたが、放送内容を聞いて理解しながら正解を選んでいくのは一苦勞です。過去問を何度も何度も、隅から隅まで聞いて、英検のリスニング問題の全貌を知り尽くすことが合格への近道です。

第7章 読解の勉強方法

■リスニングと同じように、次のような質問をよく受けます。私の答えはいつも決まっています

Q. どうやったら読めるようになりますか？ 沢山読むのがいいのでしょうか？ デイリー読売と、タイムと、ニュースウィークと----どれを読めばいいですか？

A. 精読をやって、文章構造を隅から隅まで解剖し、単語、熟語の意味もすべて調べてください。そして、ロジック-書いてあることの意味をすべて理解してください。日本語に訳せなかったら（日本語の文章に書かなくても構わない）多分、英文の意味を理解できていません。毎週1回、3~5ページくらいの分量で構いません。これを1年続けてみてください。必ず上達します。

■英文を読むときのヒント-学校で習わない実践的な読み方

<The に気をつける>

下記の英検過去問 The Laser の文章の中で、ボードで示しています。たかが The, されど The です。意味も無く the が使われているではありません。私も含めて日本人はこのことが充分理解できていないので、ディクテーションをやるとぼろが出ます。意識が無いから、the が聞こえないのです。

<that に気をつける>

下記の英検過去問 The Laser の文章の中で that をボードで示しています。あのという意味の that、which で置き換えることができる関係代名詞と、接続詞としての that があります。特に、接続詞としての that に気をつけましょう。接続詞としての that は英検、通訳ガイド試験、タイム、エコノミスト、ニュースウィークなどの英文にも多く見られます。that より左にある独立した文章（主語、述語、動詞があって独立して存在できる文章）と、that より右にある独立した文章（主語、述語、動詞があって独立して存在できる文章）とをつないでくれているから接続詞なのです。通常、that 節と呼ばれ、that 以下のことが----と訳します。

<関係代名詞 (it, its, this, they など) に気をつける>

下記の英検過去問 The Laser の文章の中で、ボードで示しています。これらをひとつずつ正確に押さえていくことが、文章の論理の流れを正確に理解することにつながります。単純に見える関係代名詞ですが、決しておろそかにしないでください。この観点を持てば、あなたの英文の読み方が変わってきます。

<：コロンや；セミコロンに気をつける>

下記の英検過去問 The Laser の文章の上から10行目にコロンがあり、ボードで示しています、
known in its acronymic form: laser.

コロンやセミコロンの意味合いについては、私が接したほとんどの人が気にしていませんでしたが、英語学習にとって、重要な要素を含んでいます。今まで多数の英文を読んできた感触で言うところです。意味が切れる度合いの大きさを言うと、ピリオド→セミコロン→コロン→コンマと

いう順番のような気がします。セミコロンは、ひとつのことについて、これでもか、これでもか
-と言い足すときに使われています。ピリオドだと、いったんそこで論旨が終わってしまい、次に
別の論旨がくるのですが、直前に言ったことを別の表現で補足説明するという感じです。

一方コロンは、「すなわち～である」という表現をしたいときに使われるケースが多いです。上
記で示す、known in its acronymic form: laser. がその典型です。

<言い換えに気をつける>

英語は、繰り返しを極端に嫌う言語です。ですから、例えば、ブッシュ大統領について書かれた
記事の中では、大統領、第51代大統領の息子、第53代大統領、テキサスの牧場主、Red neck
(教養の無い、粗野な肉体労働者といった人をばかにする表現)、元アル中など、これでもか、
これでもかと言い換えてきます。

先日も、ある記事を読んでいたら、グリーンランドの氷河が溶け出しているレポートでした。何
回か「グリーンランド」で表現しているのに、文の半ばで、突然、「The Danish territory」と
いう表現が出てきました。これは、「そのデンマーク領は」と訳してはだめなのです。間違いで
はないのですが、英文の特質を理解していないことの現われです。グリーンランドという単語を
何回か使ったから、ライターはいやになって、わざわざ言い換えたのです。そうです、グリーン
ランドはデンマーク領なのです。

こういう例は、たくさん目にしますので、そういう意識をもって英文を読むようにしましょう。
英文を読む際の目の付け所が変わってくる自分に気がつくはずですよ。

■ 英検1級読解問題について

英検1級読解問題は、穴埋め2題、長文3題で構成されています。下記は、2007年度第3回読
解問題のボリュームを分析したのですが、設問を含めるとワード数は3700を超えます。いつ
も大体似たような分量で出題されています。

種類	本文ワード数	設問ワード数	ワード数 計
穴埋め	356	61	417
	358	62	420
長文	527	326	853
	494	294	788
	810	453	1263
計	2545	1196	3741

内容が難しいので、設問に照らして、ロジックを理解しながらじっくり読んでいくと、1分間で
120ワード読むのがせいぜいのところですよ。つまり、本文と設問を読むだけで30分以上かかり

ます。これを 60 分以内に読み解き、正解を見つけるわけですから、高度な読解能力に加えて、読み方に工夫が必要です。

これまで、試験会場で計 115 問（5X23 回）を解いてきた経験から得たノウハウを次の章で紹介します。

第8章 英検1級穴埋め問題の攻略（過去問の研究）

次の英文は、英検1級の過去問題です。パラグラフごとに、抄訳（サマリー）を日本語で入れてあります。このサマリーは、私が英文を読むときに、パラグラフごとに意味を大づかみする、理解の仕方をあらわしているとも言えます。

穴埋め問題の急所は、文章の意味のつながりが理解できているかどうかを聞いているのであり、それを理解すれば正解は得られます。

過去問

The Laser

There have been countless advances in science and technology over the past century **that** can be said to have laid the foundation for today's technology-dependent information society. But when we consider innovations like **the** computer, **the** Internet, cell phones, and satellites, we should keep in mind **that these** are actually amalgamations of various technologies. **The** building blocks of **the** appliances of our wired world—memory chips, integrated circuits, microprocessors, and so on—are perhaps less recognized and less heralded by **the** general populace than **the** applications (26).

But one innovation **that** is known in its own right equivalently or even more so than for **its** myriad applications is light amplification by stimulated emission of radiation, commonly known in **its** acronymic form: laser.

Infrared and Optical Masers by Arthur Schawlow and Charles Townes, **which** was published in 1958, was the research paper **that** initiated **this** new scientific field and laid **the** foundation for today's multibillion-dollar industry associated with lasers. **The** predecessor to the laser (27) since **it** operated under similar principles using microwaves instead of light waves.

Essentially a laser is a device **which** uses a quantum mechanical effect—namely, stimulated emission—to generate a very collimated, monochromatic, and coherent beam of light. Laser light can be of very high intensity, enabling **it** to cut diamonds, steel, and other hard materials. But **the** key to **the** wide-range applicability of laser beams is **their** low level of divergence. Most light sources, by contrast, emit photons in all directions and usually over a wide spectrum of wavelengths.

Lasers today are widely used in consumer electronics, communications, medicine, manufacturing, and scientific research among other fields. Yet, while most people have a general, if somewhat superficial, understanding of laser technology, **its** (28) to our everyday life is sometimes overlooked.

Take, for example, communications. Laser light channels telephone conversations, video, Internet traffic, and other data through glass fibers at capacities incomparable to conventional wire carrier lines. In fact, lasers are **the** building blocks for systems **that**

can transmit hundreds of billions of bits of information every second of every day. And with **the** constant demand for higher transmission capacities, **the** role of lasers in **this** application, as with others, will only grow.

- (26) 1 in which they cannot be used 2 where they were developed
3 in which they are incorporated 4 that are unknown
- (27) 1 never became obsolete 2 had few applications
3 spurred economic incentives 4 was coined "maser"
- (28) 1 former relevance 2 rising redundancy
3 increasing indispensability 4 potential danger

問題解説

The Laser

There have been countless advances in science and technology over the past century that can be said to have laid the foundation for today's technology-dependent information society. But when we consider innovations like the computer, the Internet, cell phones, and satellites, we should keep in mind that these are actually amalgamations of various technologies. The building blocks of the appliances of our wired world—memory chips, integrated circuits, microprocessors, and so on—are perhaps less recognized and less heralded by the general populace than the applications (26).

- コンピューター、インターネット、携帯電話、人工衛星などは様々な技術が融合したものが、それらの構成要素であるメモリーチップ、集積回路、マイクロプロセッサなどについては余り知られていない。

- (26) 1 in which they cannot be used 2 where they were developed
3 in which they are incorporated 4 that are unknown

(26) メモリーチップ、集積回路、マイクロプロセッサなどは、それらの技術の集大成であるコンピューター、インターネット、携帯電話、人工衛星などと比べて認知度が低いという意味なので、3番が正解です。in which they の they はメモリーチップ、集積回路、マイクロプロセッサのことです。1、2、4はどれも意味を成しません

But one innovation that is known in its own right equivalently or even more so than for its myriad applications is light amplification by stimulated emission of radiation, commonly known in its acronymic form: laser.

- Laser は、light amplification by stimulated emission of radiation の頭文字をとっ

たもの。

Infrared and Optical Masers by Arthur Schawlow and Charles Townes, which was published in 1958, was the research paper that initiated this new scientific field and laid the foundation for today's multibillion-dollar industry associated with lasers. The predecessor to the laser (27) since it operated under similar principles using レーザー(light waveを使う)の前身はメーザー(Microwaveを使う)と言われていた instead of light waves.

- レーザー (light wave を使う) の前身はメーザー(Microwave を使う)と言われていた。

(27) 1 never became obsolete 2 had few applications
3 spurred economic incentives 4 was coined "maser"

レーザーの前身は (27) と言われていた、その理由は light waves ではなく microwave を使うからだという論旨です。light waves→laser、microwave→maser と気がつくことが正解にたどりつくためのポイントです。レーザー (light wave を使う) の前身はメーザー(Microwave を使う)と言われていたという論旨の 4 番が正解です。coined という単語を知らない場合、少し不安が残りますが、1、2、3 のどれも意味を成しません

Essentially a laser is a device which uses a quantum mechanical effect- namely, stimulated emission-to generate a very collimated, monochromatic, and coherent beam of light. Laser light can be of very high intensity, enabling it to cut diamonds, steel, and other hard materials. But the key to the wide-range applicability of laser beams is their low level of divergence. Most light sources, by contrast, emit photons in all directions and usually over a wide spectrum of wavelengths.

- レーザーの特徴：①硬いものを切断、②フォトン出し方が他のものとは異なる

Lasers today are widely used in consumer electronics, communications, medicine, manufacturing, and scientific research among other fields. Yet, while most people have a general, if somewhat superficial, understanding of laser technology, its (28) to our everyday life is sometimes overlooked.

- レーザーは毎日の生活に不可欠のものになっているが、そのことはあまり知られていない。

(28) 1 former relevance 2 rising redundancy
3 increasing indispensability 4 potential danger

Take, for example, communications. Laser light channels telephone conversations, video, Internet traffic, and other data through glass fibers at capacities incomparable to conventional wire carrier lines. In fact, lasers are the building blocks for systems that can transmit hundreds of billions of bits of information every second of every day. And

with the constant demand for higher transmission capacities, the role of lasers in this application, as with others, will only grow.

- ブロードバンド時代にはレーザーの役割はさらに大きくなる

have laid the foundation for	---の基礎となった
technology-dependent information society	技術に依存した情報化社会
in its own right	それ自身として
quantum mechanical effect	量子力学的効果
a very collimated, monochromatic, and coherent beam of light	
collimate (kólémèit)	vt. (光線などを) 平行にする; 視準する.
monochrome	n. 単彩画 (法), 白黒写真. a. 単色の; 白黒の.
coherent a. 密着する; 首尾一貫した; 【物】干渉性の. coherent radiation 【物】干渉性放射.	
coherent scattering	【物】干渉性散乱.
photons	光子

第9章 英検1級長文問題の攻略（過去問の研究）

次の英文は、英検1級の過去問題です。解説のほうは、パラグラフごとに、抄訳（サマリー）を日本語で入れてあります。このサマリーは、私が英文を読むときに、パラグラフごとに大づかみで意味を理解するのですが、その理解の仕方を表しているとも言えます。

長文問題の急所は、論旨の流れをつかむことであり、いわゆる5W1Hで内容を理解していくことです。様々な研究チームの成果や説（賛成、反対）が紹介され、最後は作者の意見が入り、どちらが正しいかは神様だけが知っている、時間の経過を待たねばならない、それは神の領域に人間が入り込むことだといった結論が目立ちます。

長文を読むコツは、設問をひとつずつ先に読み、何を聞いているか理解して、問題意識を持って、第1パラグラフを読みます。そこに手がかりがあれば、選択肢から正解を選びます。そのパラグラフに手がかりが無ければ、次のパラグラフを読みます。手がかりがあれば、選択肢から正解を選ぶ――これを繰り返します。

いきなり、本文を最初から最後まで読む→設問1を読む→本文を頭から読み直して探す→見つかったら選択肢から正解を選ぶ――これを繰り返しては、時間がいくらあっても足りません。

設問は、本文の順番に沿っているので、設問を読んで本文の流れに沿って上のパラグラフから順番に手がかりを探すのが合理的な読み方です。設問1の手がかりを得たら、次は、設問2を読んで問題意識を持って次のパラグラフから読んでいけばいいのです。それ以前のパラグラフに戻る必要はありません。

もうひとつ気をつけるべき点は、本文と設問では、同じことを別の表現であらわしていることです。つまり、本文で述べられていることの意味を理解していないと、設問の中から正解を得られないということです。

人や、組織や、文物の名前がたくさん出てきてややこしいのが英検長文の特徴です。私は、いつもマーカーを会場に持ち込み、キーワードになりそうな単語を黄色でハイライトしています。こうすると、俄然、読みやすくなります。

扱う題材は、学術的のものが多く、最近では、遺伝子、DNA、地球温暖化、脳の働き、眠りの構造などが出ています。ミステリアスな文物の発見や発掘にまつわるストーリーも度々出ています。また、最近では、インドの国際収支やベトナムの店頭株式市場の特徴についてのレポートも出題されています。歴史や国際問題に関する出題もあります。ポーランド陸軍の将校がCIAのスパイだった話も出ましたし、直近の試験では第二次大戦中の米英間の抗争にかかわる題材も扱われています。このように、多岐にわたる題材が出題されており、広い意味での教養の豊かさが求められていると言ってもいいでしょう。

過去問

Melting a New Trade Route

Environmentalists *bemoan* the disastrous effects *that* global warming could have on habitats for Arctic wildlife and *indigenous* peoples, citing estimates *that* the Arctic could be ice-free in the summertime by 2080. But *not all those who* foresee an Arctic melt are *doomsayers*. *A handful of* shipowners *see a pot of gold at the end of that rainbow*, or in this case, the end of the Arctic passage.

"In the next 10 years, I believe we will solve the problems of *round-the-year goods transport* via the Northern Sea route," said Alexander Medvedev of Russia's Murmansk Shipping Company. Murmansk Shipping currently runs two or three cargo voyages per year from Japan to Europe, using icebreakers to *plow through this* new route, which *hugs* the coast of northern Russia. Medvedev believes *that* with the predicted melt, up to 15 days could *be shaved off* the voyage from Europe to Japan and back, particularly in the summer. The shrinking ice could therefore expand the company's shipping opportunities *exponentially*.

The passage through the other side of the Arctic, the Northwest Passage, which snakes over Alaska and through *a maze of* islands off Canada, will likely *be clogged with* ice for another two decades *beyond* the opening of the Northern Sea route above Russia. The Northwest Passage is further north than the Russian route, and *it* passes through *straits* more easily blocked by ice. But most scientists agree *that* while *the specifics are open to question*, *both passages* will be open within this century.

For environmentalists, the new passages *portend* a potentially disastrous *get-rich rush* to northern resources. "Melting of the ice will make access far easier to northern Siberia and other *wilderness regions*," states Svein Tveitdal of the U.N. Environmental Program's polar center. "There has to be a strategy for sustainable development of the Arctic. It mustn't be a sort of new Africa, where colonists *exploited* the resources."

While shipping companies may face less ice in the future, *they* still must *contend with* other obstacles. Aware of *ice-instigated disasters* like the Titanic, insurance companies *are hesitant to* cover Arctic shippers, *resulting in* pricey premiums. In addition, shippers must *equip* their ships *with ice-resistant hulls* and provide icebreaker escorts, which could wipe out the financial advantages of shorter routes.

As the ice recedes, governments also face billions of dollars in expenses to make the passages usable. Ports in northern Russia, for instance, have been left to *deteriorate* since the end of the Cold War, when nuclear-powered icebreakers regularly led warships between the Pacific and the Atlantic. "The obstacles are more economic and political," said Peter Wadhams of Cambridge University. "It's a question of *infrastructure*: navigational aids, search and rescue teams, the ability to clean up pollution."

At least one scientist, however, thinks the predictions themselves are premature. According to Rob Huebert of Canada's Centre for Military and Strategic Studies, global

warming is having an inconsistent effect in Arctic regions. "In some areas the ice is getting thicker," said Huebert, "even as *it* breaks up elsewhere." These areas, as if to snow on the global-warming parade, are doing the unthinkable: getting colder.

(1) Which Arctic passage is likely to open first, and why?

- 1 The Northern Sea route, because its lower latitude means the ice will melt faster.
- 2 The Northern Sea route, because basic shipping facilities are already in place.
- 3 The Northwest Passage, because global warming is having a greater impact in that area.
- 4 The Northwest Passage, because it is the most sought after by shipping companies.

(2) In the opinion of Svein Tveitdal, the opening of the northern routes

- 1 would mean northern Siberia and other wilderness areas becoming accessible for study.
- 2 could open the door to colonization and the exploitation of natural resources in the Arctic.
- 3 would provide an opportunity to test new development strategies, such as those that have been used in Africa.
- 4 will be unlikely to lead to environmental damage due to strict U.N. regulations already in place.

(3) Regarding ports in northern Russia, the author's main point is that

- 1 the lack of military transport in the area since the end of the Cold War has left the ports out-of-date.
- 2 the use of icebreakers during the Cold War caused a gradual deterioration of the ports.
- 3 even though the Cold War is over, there may still be political obstacles to the transport of Western goods.
- 4 the ports are being used for military transport and may not be suitable for commercial usage.

問題解説

Melting a New Trade Route

Environmentalists bemoan the disastrous effects that global warming could have on habitats for Arctic wildlife and indigenous peoples, citing estimates that the Arctic could be ice-free in the summertime by 2080. But not all those who foresee an Arctic melt are doomsayers. A handful of shipowners see a pot of gold at the end of that rainbow, or in this case, the end of the Arctic passage.

- 環境保護団体は、北極海は 2080 年までに夏場に氷が解けてなくなる状況になり、自然環境や原住民に悪い影響を与えると心配しているが、少数の船主が北極海航路にビジネスチャンスが開けると期待している。

設問 1 の手がかりはここにはありません

“In the next 10 years, I believe we will solve the problems of round-the-year goods transport via the Northern Sea route,” said Alexander Medvedev of Russia’s Murmansk Shipping Company. Murmansk Shipping currently runs two or three cargo voyages per year from Japan to Europe, using icebreakers to plow through this new route, which hugs the coast of northern Russia. Medvedev believes that with the predicted melt, up to 15 days could be shaved off the voyage from Europe to Japan and back, particularly in the summer. The shrinking ice could therefore expand the company’s shipping opportunities exponentially.

- 北極海ルートで年に数回、砕氷船を使って日本から欧州に輸送船を航行させている Medvedev 氏の見解：欧州-日本の往復ルートで夏場には 15 日くらいまでの航行時間短縮ができる。

設問 1 の手がかりはここにもありません

(1) The passage through the other side of the Arctic, the Northwest Passage, which snakes over Alaska and through a maze of islands off Canada, will likely be clogged with ice for another two decades beyond the opening of the Northern Sea route above Russia. The Northwest Passage is further north than the Russian route, and it passes through straits more easily blocked by ice. But most scientists agree that while the specifics are open to question, both passages will be open within this century.

- 北西ルートについての記述：アラスカからカナダの沖の島々を通過して行く航路。北極海ルートより北にあり、氷に閉ざされやすい。科学者は、どちらのルートも 21 世紀中に開かれるだろうと見ている。

設問 1 の手がかりがやっと出てきました。(1) 下線部で示す箇所が設問 1 の答えが書いてある場所です。the Northwest Passage, which snakes over Alaska and through a maze of islands off Canada と、the Northern Sea route above Russia. の二つのルートの比較です

(1) Which Arctic passage is likely to open first, and why?

1 The Northern Sea route, because its lower latitude means the ice will melt faster.

2 The Northern Sea route, because basic shipping facilities are already in place.

3 The Northwest Passage, because global warming is having a greater impact in that area.

4 The Northwest Passage, because it is the most sought after by shipping companies.

For environmentalists, the new passages *portend* a potentially disastrous *get-rich rush* to northern resources. "Melting of the ice will make access far easier to northern Siberia and other *wilderness regions*," states Svein Tveitdal of the U.N. Environmental Program's polar center. "There has to be a strategy for sustainable development of the Arctic. (2) It mustn't be a sort of new Africa, where colonists exploited the resources."

- 環境保護団体は、新しいルートの開発によって、シベリアなどの資源が荒らされるのではないかとの疑念を持つようになる。国連の Tveitdal 氏の主張：持続可能な開発が必要。アフリカの収奪の二の舞は避けねばならない。

設問 (2) の手がかりは、(2) 下線部にあり、下記 2 の選択肢が正解であることがわかります

(2) In the opinion of Svein Tveitdal, the opening of the northern routes

1 would mean northern Siberia and other wilderness areas becoming accessible for study.

2 could open the door to colonization and the exploitation of natural resources in the Arctic.

3 would provide an opportunity to test new development strategies, such as those that have been used in Africa.

4 will be unlikely to lead to environmental damage due to strict U.N. regulations already in place.

While shipping companies may face less ice in the future, *they* still must *contend with* other obstacles. Aware of *ice-instigated disasters* like the Titanic, insurance companies *are hesitant to* cover Arctic shippers, *resulting in* pricey premiums. In addition, shippers must *equip* their ships *with ice-resistant hulls* and provide icebreaker escorts, which could wipe out the financial advantages of shorter routes.

- 氷が解けると言って手放しでは喜べない。北極圏ルートには他の問題もある。タイタニック号のような問題がありうるので保険料が高い。氷に耐えられるように船体の強化も必要だし、砕氷船も同行必要でコストがかかる。

設問 3 の手がかりはここにはありません

As the ice recedes, governments also face billions of dollars in expenses to make the passages usable. (3) Ports in northern Russia, for instance, have been left to deteriorate since the end of the Cold War, when nuclear-powered icebreakers regularly led warships between the Pacific and the Atlantic. "The obstacles are more economic and political," said Peter Wadhams of Cambridge University. "It's a question of infrastructure: navigational aids, search and rescue teams, the ability to clean up pollution."

- 氷が解けても、政府は航路整備のために莫大な投資が必要。ロシアの北極の港は冷戦終了後荒れ放題。Wadham 氏の主張：インフラ整備の問題。

設問 (3) の手がかりは、(3) 下線部にあり、下記 1 の選択肢が正解であることがわかります

(3) Regarding ports in northern Russia, the author's main point is that

1 the lack of military transport in the area since the end of the Cold War has left the ports out-of-date.

2 the use of icebreakers during the Cold War caused a gradual deterioration of the ports.

3 even though the Cold War is over, there may still be political obstacles to the transport of Western goods.

4 the ports are being used for military transport and may not be suitable for commercial usage.

At least one scientist, however, thinks the predictions themselves are premature. According to Rob Huebert of Canada's Centre for Military and Strategic Studies, global warming is having an inconsistent effect in Arctic regions. "In some areas the ice is getting thicker," said Huebert, "even as it breaks up elsewhere." These areas, as if to snow on the global-warming parade, are doing the unthinkable: getting colder.

- Huebert 氏の主張：予測は時期尚早。地球温暖化が北極圏に与える影響は均一ではなく、氷が解けている地域もあれば、逆に氷が厚くなっている地域もある。

重要な語句：

a handful of

ひと握りの；少量の

see a pot of gold at the end of that rainbow

あの虹の端には金の壺（宝物）がある。夢をかなえる意味にも使われる。ムーンリバーの歌詞にも登場。we're after the same rainbow's end ♪。

round-the-year

年中、1年を通じて

cargo voyage

荷物運搬の航海

portend

～の前兆となる、予告する

get-rich rush

一攫千金を狙って殺到すること

sustainable development

持続可能な開発

exploit the resources

資源を収奪、搾取する

第10章 時間配分と管理

時間配分と管理が重要です。1級の1次試験は100分間で短文(単語)、読解穴埋め、読解長文、英作文を解かねばなりません。私は、英作文に最低30分かち、残りの70分を短文(単語)25問で15分、読解穴埋め2題で15分、読解長文3題で40分に配分するようにしています。但し、これは目安であり、読解が早く片付けば、英作文に充てるようにしています。

英作文に最低30分かけるのは、そうでないと満足のいく作文が書けないという実戦経験によるものです。英作文は配点の25%を占めており、読解問題(23%)よりも合否への影響が大きいのです。しかも、採点者の主観が入るので、論旨だけでなく、読みやすさなどについても慎重な対応が必要です。

5分くらい時間を割いてリスニング問題の先読みをする人が居ます。私は二つの理由で反対です。

①読解問題は文字数が多く、穴埋めと長文を読みきって、納得のいく形で正解を選ぶことは至難の業です。ただでさえ時間が足りなくて苦労するのに、ほかの事に割けば、ますます読解で正解を見つけることが難しくなります。どれも中途半端にしか読めなくなり、家に帰ってじっくり読めばできるのに、試験会場で力が発揮できないというパターンに陥ります。

②問題の先読みは意味がなくはないのですが、それは、リスニングが始まって、最初に流れる試験方法の説明のときに、説明を無視して先読みすればいい話です。但し、せいぜい3問か4問くらいまで目を通す程度です。

大体、先読みしても、内容を記憶することは難しく、頭の中が混乱するか、間違った先入観が邪魔して聞き間違いをするのが落ちです。余計なことはせず、読解問題をぎりぎりまできっちりやりきることが合格への道です。

時間配分と管理が重要なのは、もうひとつ理由があります。それは、心の安定と冷静さを保ち、実力を出し切るためには、時間のマネジメントが必須だからです。ひとつの問題に時間をかけすぎると、気がついたら残りの問題を解く時間が不足し、大慌てで取り組むことになり、あせってしまい、日頃の力が発揮できなくなります。不合格者にはこの傾向が多く見受けられます。

試験開始前に、短文15分、穴埋め12分、長文43分、英作文30分などと時間配分を考え、試験開始と同時に、問題用紙の余白にこれをメモし、5分おきくらいに進捗をチェックするといいでしょう。時間に追われるのではなく、時間を管理していくのです。こうすることで、集中力が増し、合理的な書き方や読み方を工夫するようになります。

穴埋め2題、長文3題全部を解くと時間不足でどれも中途半端にしか読めなくなり、軒並み半分しか正解できないといったケースが出てきます。そうであれば、初めから、穴埋めを最初から1題、もしくは2題捨て、残りをきっちり読み込んで8割以上の正解を得るほうが特になります。

読むスピードにもよりますが、穴埋めが得意な人は、穴埋めを温存し、その代わりに長文を一つ落として12~15分稼ぐ手もあります。いきなり6点減になりますが、じっくり読んで正解率を上げればカバー可能です。

第11章 勉強を継続する方法

■ 自分を追い込む

明確な目標を掲げ、時間軸を設け、計画を立てて勉強しましょう。試験に合わせて通学するのは有効な方法です。私は、通学の意味は、学校に来ることそのもので半分くらいの意味があると思っています。自宅では、どうしても集中力に欠けてしまいます。その点、学校に来ると、授業では集中できます。それなりに予習・復習もしてくることも大きなメリットです。

また、学校には、「戦友」がたくさん居ますので、パワーとやる気をもらい、大いに励みになります。

時間軸で目標を掲げるとというのは、試験日程にあわせて、期限付きで勉強することです。納期の無い仕事が無いように、明確な目標値を持たない受験勉強もありえません。ゆっくりと構えていては、結局、いつまでたっても合格することができません。

私は、英検が試験申し込みを開始すると同時に、英検ホームページからクレジットカード払いで申し込みます。会員（無料）になっていると、登録情報が画面に提示されるので、手続きはわずか数分で終わります。申し込んだら、試験日にあわせて勉強します。このように、毎回受験することで自分を追い込み、勉強するくせをつけることが、勉強を継続するための秘訣です。

■ 継続は力なりー合格するまで諦めないこと

試験に合格した人に聞くと、ひとつの共通項があります。別の表現をすると、試験に合格するための秘訣はたった一つです。それは、合格するまで諦めないことです。そんなの当たり前じゃないかと言われそうですが、その当たり前のことができないから、この世の中には不合格者があふれているのです。

合格するまで諦めないとは言っても、だらだらと時間をかければよいというものではありません。人生は有限です。若いうちに勉強しておけば記憶力も高いし、学習したことを活用できるチャンスも当然、他の人よりも多くなります。ここで、重要なのは、合理的な勉強をすることです。正しいと言ってもいいのですが、人は個性がありますし、強み・弱みも異なるわけですか、万人に共通の処方箋があるわけではありません。ですから、私は、生徒さんの成績通知書を見て、それを分析し、学習方法をアドバイスするようにしています。

毎年、2月に、通訳ガイド（案内士）試験の合格祝賀会があります。私は、毎回、合格者の体験談を聞くのを楽しみにしています。印象深かったのは、高校の先生を辞めて背水の陣で臨んだのに、体調不良などで試験会場で実力を出し切れず、3回連続で不合格、4度目の挑戦で合格した不屈の精神の持ち主でした。

もう一人は、私が直接かかわった英検1級合格者です。合格しておかしくない力を持っているのに試験会場で発揮できず、1次試験で敗退を続けておられました。私が担当するクラスに入って3ヶ月コース2期目で1次試験に合格したのですが、2次試験で4回連続不合格となり、すっかり意気消沈しておられました。落ちるはずがない実力を持っておられるのに、どういうわけか、試験会場で立ち往生してしまい、実力の半分も出せないのです。しかも、規定によって1次試験

からやり直しになりました。それでも、悪びれることなく、不屈の精神でチャレンジ意欲を燃やし続け、1年後に、クラスに戻ってこられ、2回目で見事1次試験を突破されました。その勢いで2次も一気に突破されました。合格直後に電話を頂戴したのですが、私も、感無量でした。合格電報を送り、双方の夫婦4人で祝賀パーティーを開きました。

もう一人、思い出が深い人が居ます。和歌山県のシニアの方です。昨年11月に、通信での2ヶ月コース受講申し込みと共に、お手紙を頂戴しました。2004-1の新傾向試験開始以来、11回連続で不合格だったのですが、エクセルでパート別成績表を作っておられました。分析して、返事を出しました。読み直してみると、我ながら思い切った適切なことを書いているので紹介します。田中一郎さんという仮名を使います。

田中一郎 様

2007/12/02 (日)

このたびは、1次試験対策コースに参加していただき、ありがとうございました。

昨日、学校で今回のコースの第1回の授業をしたときに、田中さんからのお手紙を目にしました。11/24の最終説明会と、12/01の第1回授業のビデオを録画していますのでご覧ください。私の体験と、勉強方法について詳しく述べています。参考になれば幸いです

■ 田中さんの英検1級戦歴を拝見して思うこと

- 2004-1から新傾向に変わりましたが、欠かさずずっと続けてこられたことに敬意を表します。また、エクセルにきっちり記録して、強みと弱みがわかるようになさっていることに感心しました。この姿勢があれば必ず合格に結びつくと思います。
- **単語**：2005-2からずっと20点以上であり、高度なレベルまで改善し、その力を維持継続しておられる様子が伺え、申し分ありません。満点は無理ですので、今のペースで勉強を続ければ良いと思います。特別な対策は不要と思います
- **穴埋め、長文**：毎回、得点がアップダウンし、ムラがあるようです。同じ受験仲間として率直に申し上げます。田中さんの点数推移を見ると、11回も受験なさっているのに、受験経験から教訓をきっちり引き出し、次回に生かしているというふうには見えないのです。この点を克服しないと、何度受験しても同じ結果しか得られないように思います。2007-2の読解はいつもより難しかったと思いますが、落ち着いて読めば攻略できます。私は穴埋め・長文が満点でした。全体でも3桁の得点です。でも、多分、私と田中さんで単語・読解力に大きな力の差はないと思います。もし違いがあるとすれば、私は、毎回の受験経験を徹底的に振り返り、教訓を得て、次に同じ失敗を繰り返さないようにしていることだと思います。私は、授業で徹底的に過去問題にこだわっています。それは、過去問の経験から学び、次の試験に生かすためです。過去問をやるのは意味がないとおっしゃる方がたくさん居るのですが、私はいつも言いかえます。「過去問から教訓を引き出し、次の試験で満点を取れるようになってから言ってくれ」と。
- **リスニング**：2005-3から、18-21点の範囲であり、それ以前と比べて大きな進歩が見られま

す。授業でも強調していますが、基本的に毎回のパターンは同じです。私のアドバイスに沿って勉強すれば28-30点くらいまでいけるはずです。1回分でいいですから、ディクテーションをやって、私に送ってください。自分が何が聞こえて、何が聞こえていないかがきっちりわかります。これが原点です。騙されたと思って一度やって送ってください。アドバイスします。新しい世界が見えてくるはずです。漫然ときいているだけでは決して聞けるようにはなりません

- 英作文：これも突破口が必要ですね。毎回の課題を書いて、送ってください。徹底的にアドバイスします

言い過ぎの点をご容赦ください。一緒に勉強していきましょう

12/01に、2007-3試験を早々と申し込みました。

質問や相談事があれば、メールしてください。メールは毎日見えています。山中 昇

このあと、2ヶ月間、私と田中さんの間で、メールでの1次試験対策個別指導（英作文と勉強方法のアドバイス）が続きました。そして、見事に合格されたのです。2004-1の前にも受験を続けておられたそうであり、それも入れると15回以上連続不合格状態が続いていたのですが、私との2ヶ月のやりとりで見違えるように成長し、見事、1次試験を突破されました。元々、力はあったのですが、自己流でやっているために、潜在的な力が発揮されないままになっていたのですが、それが一挙に開花したという表現が適当かもしれません。

■ 細切れの時間活用。

勤労者、退職したシニア、主婦、学生の誰であれ、時間との競争です。まとまった勉強時間確保は困難であり、細切れの時間の積み重ねが効果的です。毎朝リスニングを30分すれば、1年で180時間の勉強をしたことになります。180時間も聴く訓練をすれば、相当なレベルへの向上が期待できます。でも、一度に180時間のリスニング訓練をすることは到底無理です。歩行中、あるいは満員電車で本が読めないときは、レコーダーの音声を聞くといった工夫をすれば、いくらでも時間は活用できると思います。人間、与えられた時間は皆同じです。その使い方によって差が生まれるのです。忙しい現代人は、まとまった時間を使うことが困難ですから、細切れの時間の積み重ねが成功への秘訣です。

■ 投資を惜しまぬこと

カウントしたら、私は、本格的に英語を勉強し始めた1997年から約10年間で、120万円近くのお金を使っていました。40回近くの各種受験料だけでも約30万円、2年半の通学（通訳学校）が65万円、参考書購入などを含めると120万円近く使っています。本格的に勉強しようと思ったら、それなりの投資が必要です。私の英語仲間では、通学を中心にして300万円以上投資している人がざらです。成長するためには、お金も時間もかける必要があるというのは永遠の真理のようです。

■ 学力向上は階段グラフ

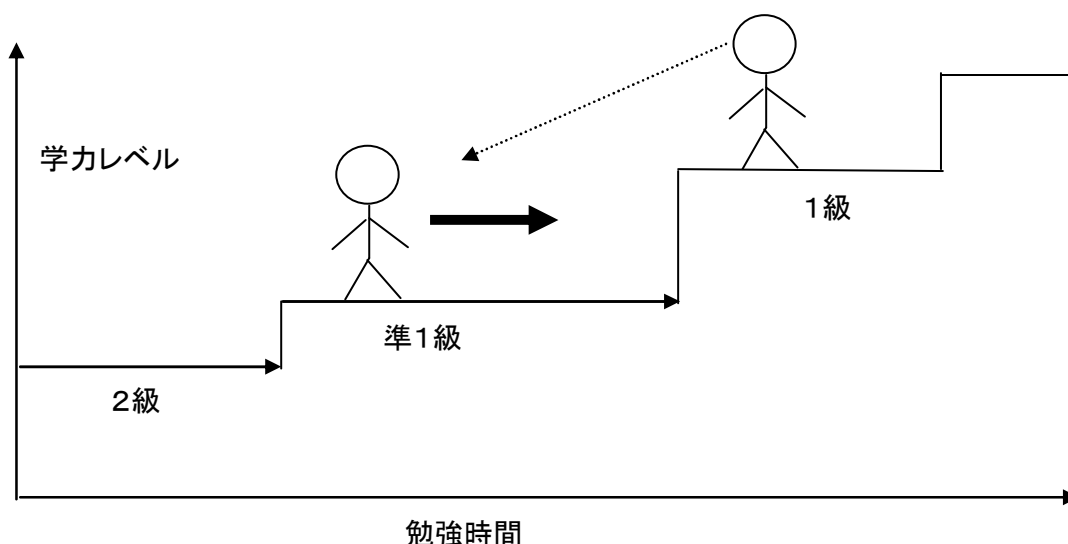
学力の伸びは、一本の直線や曲線ではなく、下記に示すような階段グラフで表せると思うのです。準1級の人で1級を狙っている人が居るとします。自分の学力向上がなかなか実感できないために途中で諦めてしまうので、1級のレベルにジャンプすることができません。ジャンプ台が在るのは、グラフで縦の線、壁まで行った人だけです。

不思議な感覚ですが、ある日突然、1級のレベルにジャンプしている自分を実感するのです。一段高いそのレベルから準1級や2級を見ると、なぜあんなことに苦勞したのだろうと思えてきます。山登りしているときの感覚に近いものがあります。

「継続は力なり」というのは正に真理です。ところが、多くの人が、下の図で言うと平坦な道を進んでいるときに、なかなか自分の成長が確信できなかつたり、模擬試験の成績が悪かつたりして、途中で諦め、勉強と挑戦をやめてしまうのです。当然ですが、図の中の縦の線まで到達できず、次の階段へジャンプすることができません。

私は、英語学校で教えている自分の役割は、平坦な道を進み続ける意欲を与えることと、歩き続ける道のりをできるだけ短くしてあげること、生徒が壁まで来たら、肩車して上のレベルに押し上げてあげることだと思っています。

自分の力で壁まで来ない生徒は助けようがありません。



第12章 ここで教えています

私は、そんな思いで、合間を縫って、下記の英語学校で、英検1級、準1級、通訳ガイド試験対策授業を受け持っています。

富士通訳アカデミー <http://www.fuji-academy.co.jp/proficiency/voice/index.html>

合格者も着実に増え、喜びと感謝の声も多数寄せられるようになりました。今のクラスには、高校3年生も二人居ます。一方、最高齢は63歳です。

クラスに参加し、私と一緒に学ぶ生徒が一人でも多く成長し、その人たちの喜ぶ顔を見たい---これが私の夢であり、生きがいです

■英検1級コースの狙い

- 英検1級の傾向に沿って、効率的な勉強をすることにより、短期合格を実現する
- 通訳ガイド試験合格と直結させる
- 読み、書き、聞き、話す、の4つの能力を養い、どの試験にも対応できる総合力を高める

■授業方針

- 試験傾向に沿い、実戦で役立つ解説
- 受験生の目線での解説（私自身が受験生）
- リスニング、英作文、読解、単語をバランスよく鍛える
- 解き方、正解を得るコツを学習する
- 個々人の弱点補強アドバイスによる合格直結ー全員で合格しよう！

<著者の紹介>

- 英検1級20回合格（2007-3まで）
- 国連英検特A級合格（2006-1, 2006-2）
- 通訳ガイド試験合格（2000年英語、2006年英語）
- 商業英検A級
- 時事英語検定A級
- TOEIC900点台後半